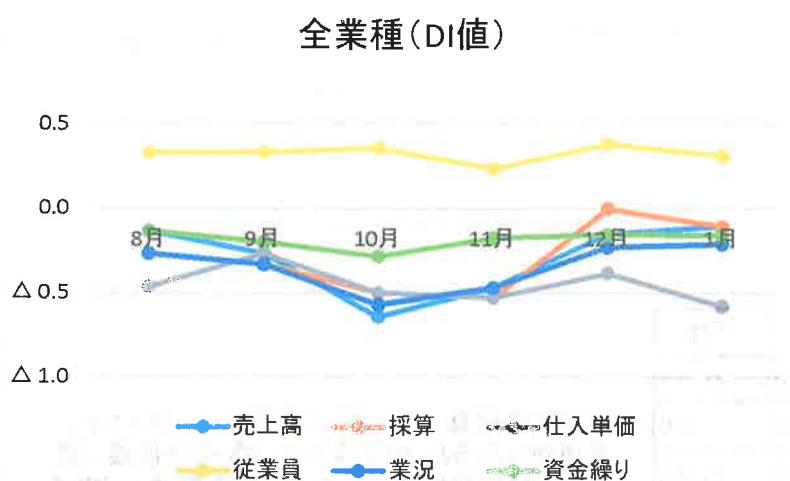


白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年1月分)

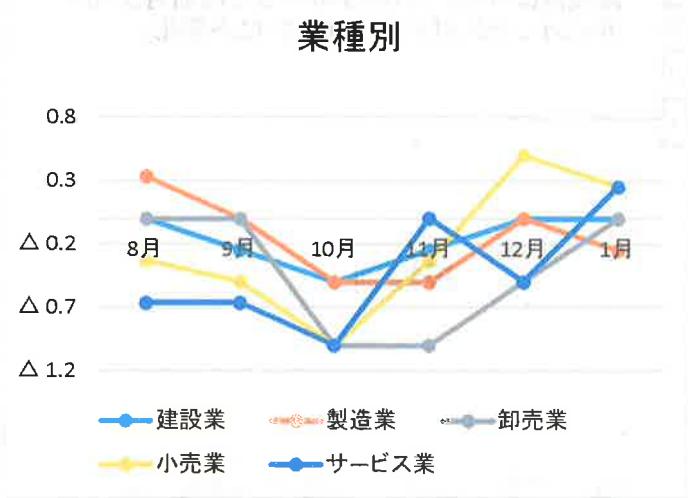
実施期間: 令和2.1.16～2.21 回答事業所: 19事業所

1. 全業種DI値



1月の全業種DI値を見ると、売上高が△0.1で前月比+0.1ポイント、業況が0.3で+0.5ポイント上昇。採算が△0.1で-0.1ポイント、仕入単価が△0.6で-0.2ポイント、従業員が△0.6で-1.0ポイント下降。資金繰りにおいては横ばいという結果であった。

2. 売上高



売上DIの推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.1
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0
製造	0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3
卸売	0.0	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	0.0
小売	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.3	0.5	0.3
サービス	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	0.0	△ 0.5	0.3
小規模	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.4	0.1	△ 0.3
それ以外	0.0	0.0	△ 0.6	0.0	0.0	0.1

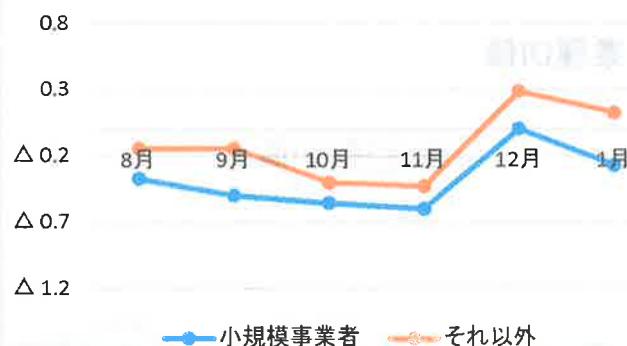
全産業の売上DIは△0.1で前月比+0.1ポイント。業種別に見てみると、卸売業では前月比+0.5ポイント、サービス業では+0.8ポイントの回復。一方で製造業は前月比-0.3ポイント、小売業で-0.2ポイントの悪化、建設業においては横ばいであった。規模別に見ると、小規模事業者で前月比-0.4ポイント、それ以外の事業所では+0.1ポイントという結果。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.1
建設	△ 0.3	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0	0.0
製造	0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3
卸売	0.0	0.0	△ 1.0	△ 1.0	0.0	0.3
小売	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	0.5	0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6	0.0	△ 0.3
それ以外	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	0.3	0.1

全産業の採算DIは△0.1で前月比-0.1ポイント。業種別にみると、卸売業で+0.3ポイント回復、製造業では前月比-0.3ポイント、小売業は-0.2ポイント、サービス業で-0.7ポイント悪化している。建設業においては横ばい。
規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.3ポイント、それ以外では-0.2ポイント悪化。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

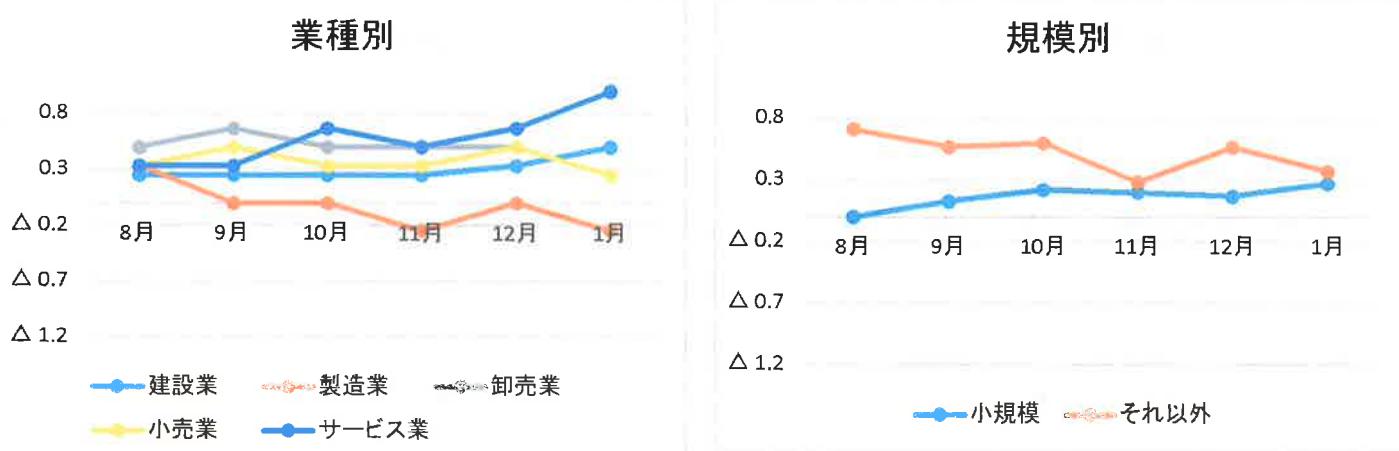
	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.6
建設	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.5	△ 0.3
卸売	△ 0.5	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
小売	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5
サービス	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.8	0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5
それ以外	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	0.0	△ 0.8

仕入単価の全産業DIは△0.6ポイントで前月比-0.2ポイント。

業種別にみると、卸売業・小売業は前月比+0.2ポイントの上昇、建設業では-0.2ポイント、製造業では-0.8ポイント、サービス業では-0.7ポイントの下降している。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント、それ以外では-0.8ポイント。

5. 従業員



従業員DIの推移

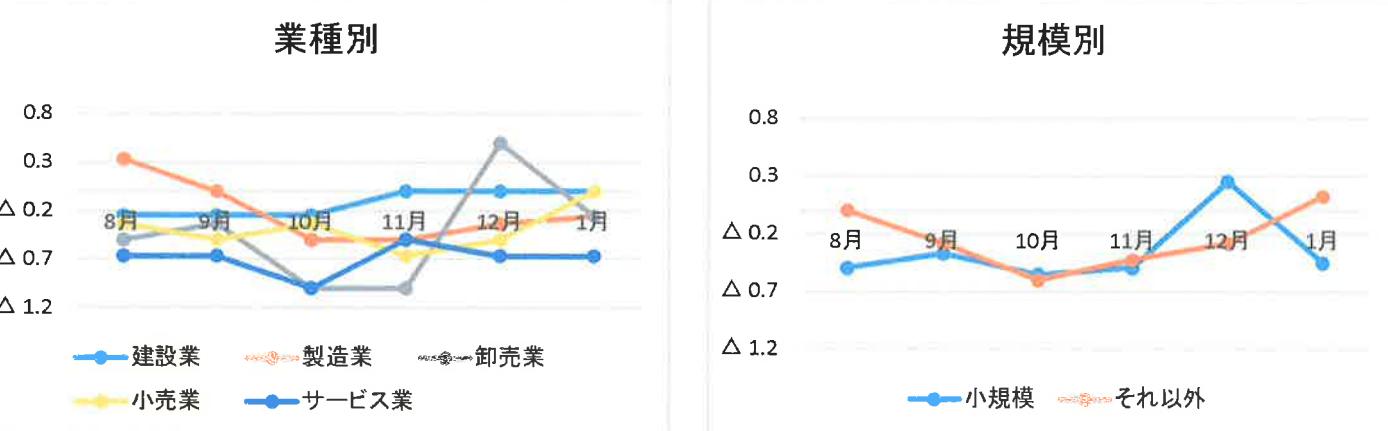
	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	0.3	0.3	0.4	0.2	0.4	△ 0.6
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5
製造	0.3	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3
卸売	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.3
小売	0.3	0.5	0.3	0.3	0.5	0.3
サービス	0.3	0.3	0.7	0.5	0.7	1.0
小規模	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3
それ以外	0.7	0.6	0.6	0.3	0.6	0.4

従業員の全産業DIは△0.6ポイントで前月比-1.0ポイント。

業種別にみると、建設業で前月比+0.2ポイント、サービス業で+0.3ポイント上昇。製造業では-0.3ポイント、卸売業・小売業では-0.2ポイント下降している。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント、それ以外では-0.2ポイントとなっている。

6. 業況



業況DIの推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	0.3
建設	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	0.5	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	0.0
サービス	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.7
小規模	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.5	0.3	△ 0.5
それ以外	0.0	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3	0.1

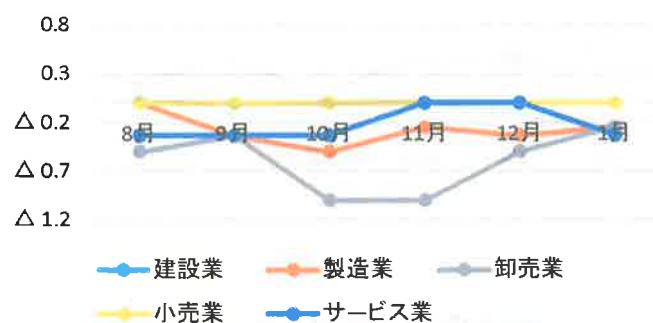
業況の全産業DIは0.3ポイントと前月比+0.5ポイント。

業種別にみると、小売業が前月比+0.5ポイントの回復、卸売業で-0.8ポイント悪化。建設業・製造業・サービス業においては横ばい。

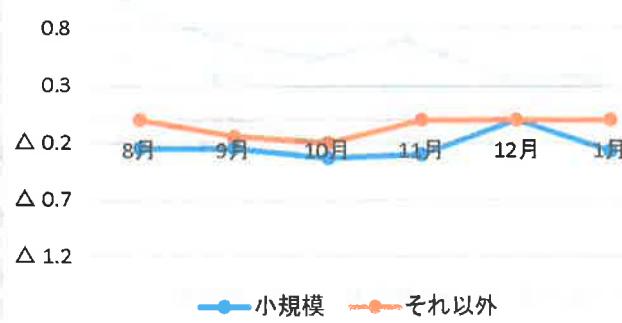
規模別にみると、小規模事業者については前月比-0.8ポイント悪化、それ以外では+0.4ポイント回復している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3
小規模	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3
それ以外	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.0	0.0	0.0

資金繰りの全産業合計DIは△0.2となっており、横ばい。

業種別にみると、卸売業で前月比+0.2ポイント上昇、サービス業では-0.3ポイント下落している。建設業・製造業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.3ポイント、それ以外では横ばいという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【採用活動の実施状況について】

1-1 新卒(2020年4月入社)の採用活動の実施状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒(2020年4月入社)の採用活動を実施した	2	1		1		4
②新卒(2020年4月入社)の採用活動を実施しなかった	1	1	2	1	2	7
③そもそも自社では新卒を採用していない	1	2	2	2	1	8

1-2 1-1で①と回答した場合 採用計画に対する新卒採用の充足状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①計画した人数どおりに採用できた(計画以上の採用も含む)	1			1		2
②採用できたが、計画した人数には満たなかった(採用活動継続中も含む)			1			1
③募集をしたが、採用できなかつた(採用活動継続中も含む)	1					1

1-3 1-2で②～③と回答した場合 確保できなかつた新卒社員の代わりに採用活動について(予定含む)(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①正社員を中途採用(社会人採用)した(予定含む)			1		1	2
②非正規社員を採用した(予定含む)						0
③代わりとなる人員の補充はしない	1	1		2		4

2.付帯調査【働き方改革における業務負荷の発生状況について】

2-1 昨年4月以降、発注側企業からの適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更等、業務負荷の増大が生じているかについて

	建	製	卸	小	サ	合計
①業務負荷の増大が生じている	1		1		1	2
②業務負荷の増大は特に生じていない	2	4	2	1	1	10
③分からぬ	1			1		2

2-2 2-1で①と回答した場合 業務負荷の内容について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①短納期発注の増加	1					1
②特定の時期(年末、年度末等)における大量発注の増加	1					1
③仕事を受けた後での一方的な納期の短縮						0
④仕事を受けた後での発注内容の変更・取り消し						0
⑤納期遅れを理由とした、完成品の受領拒否						0
⑥短納期発注等に伴う、自社の人件費等のコスト増加分の価格転嫁の拒否			1			1
⑦従業員の派遣要請を通じて、発注先企業の業務を自社従業員が無償で実施						0
⑧その他						0

付帯調査まとめ

採用活動の実施状況に関する付帯調査では、新卒の採用活動を実施したとする事業所においては、計画通りに採用できた、採用できなかつたとの回答で割れる結果となつた。また、新卒の採用活動を実施しなかつた・もともと新卒を採用していないと回答する事業所が全体の約7割を占め、代わりとなる人員の補充はしないとの回答が多い。

働き方改革における業務負荷の発生状況についての付帯調査では、業務負荷の増大は特に生じていない・また分からぬとする事業所が約8割であった。業務負荷の増大が生じている場合の内容としては、短納期発注の増加、特定の時期における大量発注の増加などが挙げられている。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年2月分)

実施期間: 令和2.2.12～2.18 回答事業所: 15事業所

1. 全業種DI値

全業種(DI値)



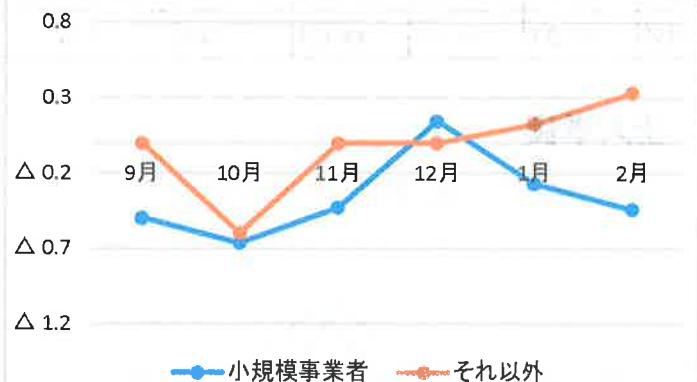
2月の全業種DI値を見ると、売上高・採算が△0.1で横ばい、仕入単価が△0.2で前月比+0.4ポイント、従業員が0.3で+0.9ポイント、資金繰りが△0.1で+0.1ポイント上昇。業況が△0.3で前月比-0.6マイナス横ばいという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



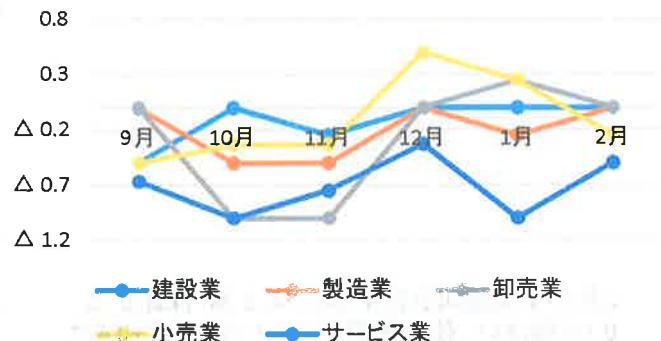
売上DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1
建設	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0	0.3
製造	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0
卸売	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	0.0	0.0
小売	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.3	0.5	0.3	△ 0.3
サービス	△ 0.7	△ 1.0	0.0	△ 0.5	0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.4	0.1	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	0.0	△ 0.6	0.0	0.0	0.1	0.3

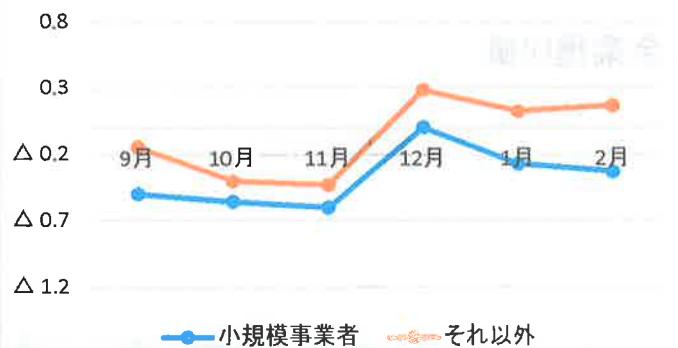
全産業の売上DIは△0.1で横ばい。業種別に見てみると、建設業・製造業で前月比+0.3ポイントの回復。一方で小売業は前月比-0.6ポイント、サービス業で-0.4ポイントの悪化、卸売業においては横ばいであった。規模別に見ると、小規模事業者で前月比-0.1ポイント、それ以外の事業所では+0.2ポイントという結果。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.1	△ 0.1
建設	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0
卸売	0.0	△ 1.0	△ 1.0	0.0	0.3	0.0
小売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	0.5	0.3	△ 0.3
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.5
小規模	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6	0.0	△ 0.3	△ 0.3
それ以外	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	0.3	0.1	0.2

全産業の採算DIは△0.1で横ばい。
業種別にみると製造業で前月比+0.3ポイント回復、卸売業が前月比-0.3ポイント、小売業は-0.6ポイント、サービス業で-0.4ポイント悪化している。建設業においては横ばい。
規模別にみると、小規模事業者では横ばい、それ以外では+0.1ポイント上昇。

4. 仕入単価

業種別



規模別

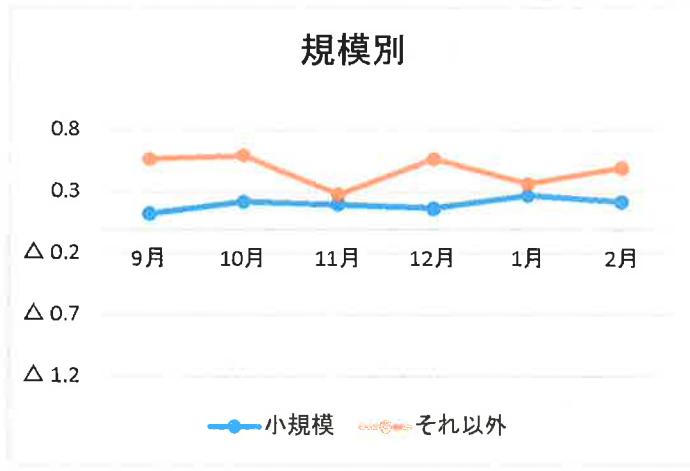
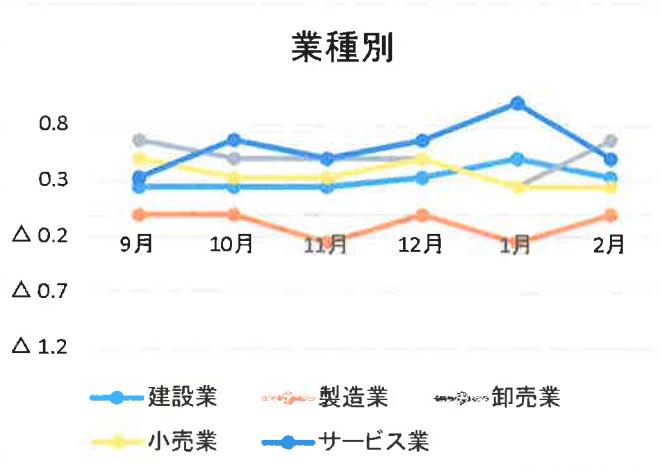


仕入単価DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.2
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3
製造	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.5	△ 0.3	0.3
卸売	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	0.0
小売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3
サービス	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.8	0.3	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.3
それ以外	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	0.0	△ 0.8	0.0

仕入単価の全産業DIは△0.2ポイントで前月比+0.4ポイント。
業種別にみると、建設業・小売業は前月比+0.2ポイント、製造業が+0.6ポイント、卸売業が0.8ポイントの上昇、サービス業では横ばい。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント、それ以外では+0.8ポイントの上昇。

5. 従業員



従業員DIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	0.3	0.4	0.2	0.4	△ 0.6	0.3
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3
製造	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
卸売	0.7	0.5	0.5	0.5	0.3	0.7
小売	0.5	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3
サービス	0.3	0.7	0.5	0.7	1.0	0.5
小規模	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2
それ以外	0.6	0.6	0.3	0.6	0.4	0.5

従業員の全産業DIは0.3ポイントで前月比+0.9ポイント。

業種別にみると、製造業で前月比+0.3ポイント、卸売業で+0.2ポイント上昇。一方建設業では-0.2ポイント、サービス業では-0.5ポイント下降している。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.1ポイント、それ以外では+0.1ポイントとなっている。

6. 業況



規格別

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	0.3	△ 0.3
建設	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	0.5	△ 0.3	△ 0.7
小売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	0.0	0.0
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.5	0.3	△ 0.5	△ 0.3
それ以外	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3	0.1	△ 0.3

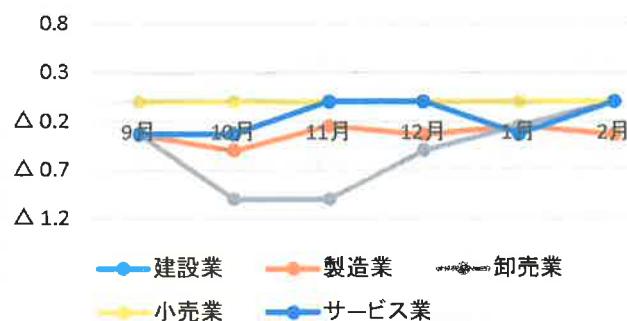
業況の全産業DIは△0.3ポイントと前月比-0.6ポイント。

業種別にみると、回復した業種はなく、卸売業で-0.4ポイント、サービス業で-0.3ポイント悪化している。建設業・製造業・小売業においては横ばい。

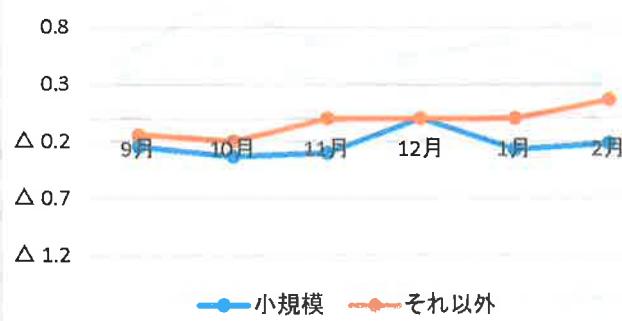
規模別にみると、小規模事業者については前月比+0.2ポイント回復、それ以外では-0.4ポイント回復している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全産業	△0.3	△0.3	△0.2	△0.2	△0.2	△0.1
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△0.3	△0.5	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3
卸売	△0.3	△1.0	△1.0	△0.5	△0.3	0.0
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	△0.3	△0.3	0.0	0.0	△0.3	0.0
小規模	△0.3	△0.3	△0.3	0.0	△0.3	△0.2
それ以外	△0.1	△0.2	0.0	0.0	0.0	0.2

資金繰りの全産業合計DIは△0.1となっており、前月比+0.1ポイント。

業種別にみると、卸売業・サービス業で前月比+0.3ポイント上昇、建設業・製造業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.13ポイント、それ以外では+0.2ポイントという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【取引先との取引条件について】

1-1 貴社の販売先について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①事業者(BtoB)	3	2	3	1	0	9
②消費者(BtoC)	2	1	3	3	2	11

1-2 1-1で①と回答した場合、前年度(2018年度)と比較して改善した事項について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①販売先からの支払いが手形から現金に変わった、サイトが短縮された等			2			2
②発注が口頭のみではなくなった、発注書に金額が記載されるようになった等				1		1
③販売先による支払い遅延、代金の減額がなくなった等			1			1
④販売先から協賛金の要求、手伝い人員の派遣要請がなくなった等						0
⑤販売先の都合による納品物の受取拒否がなくなった等						0
⑥短納期発注等に伴う、自社の人件費等のコスト増加分の価格転嫁の拒否						0
⑦無償で金型等の保管要請をされることがなくなった等	2	2	1	1		6
⑧改善した事項は無い・変わらない取引条件はむしろ悪化している						0
⑨その他						0

1-3 貴社における「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた自主行動計画(ガイドライン)の認知度について

	建	製	卸	小	サ	合計
①ガイドラインを知っている。内容も理解し、業界内で浸透しているガイドラインを知っている。	1			1		2
②内容も理解しているが、業界内では浸透していない						0
③ガイドラインを知っているが、内容を十分に理解していない	1	1	2	1		5
④ガイドラインの存在自体を知らない(業界団体にガイドラインがあるか分からない含む)	1	1	1	2	2	7

2.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

2-1 新型肺炎による経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている						0
②今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある	1	2	4	2	2	11
③影響はない	1	1		1		3
④分からない	1			1		2

2-2 2-1で①・②と回答した場合 具体的な影響(懸念含む)について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①製品・サービスの受注・売上減少、客数減少		1	3	1	1	6
②自社の生産拠点・仕入れ先の変更に伴う調達コストの上昇	1				0	1
③取引先の生産拠点・仕入れ先の変更に伴う調達コストの上昇	1				1	2
④従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増	1	1	2	1	1	6
⑤サプライチェーンへの打撃による納期遅れ		1		1	0	2
⑥為替や株価の変動に伴う消費マインドの悪化		1	1		1	3
⑦その他						0

付帯調査まとめ

取引先との取引条件に関する付帯調査では、取引先が事業所(BtoB)の場合、前年度との比較で改善した点に「無償で金型等の保管要請をされることがなくなった等」を挙げる事業所が多かった。また、取引適正化ガイドラインの認知度について、半数の事業所が「ガイドラインの存在自体を知らない」と回答し、「ガイドラインを知っているが、内容を十分に理解していない」事業所も3割という結果となった。

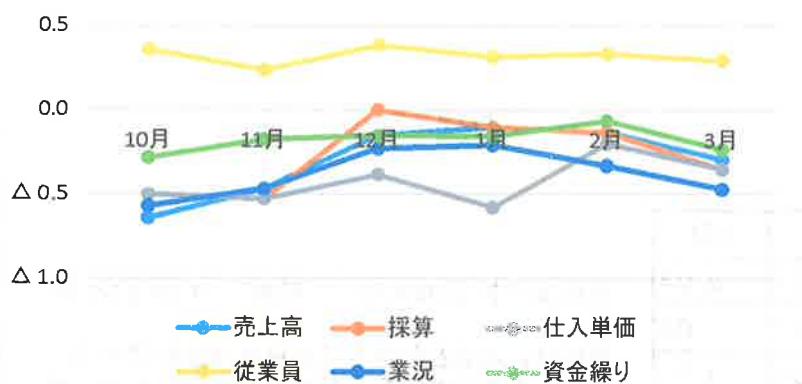
新型コロナウイルスによる影響についての付帯調査では、「今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある」と7割近くの事業所が回答している。具体的な影響(懸念含む)については、「製品・サービスの受注・売上減少、客数減少」、「従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増」等の回答が多く挙げられている。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年3月分)

実施期間: 令和2.3.13～3.19 回答事業所: 17事業所

1. 全業種DI値

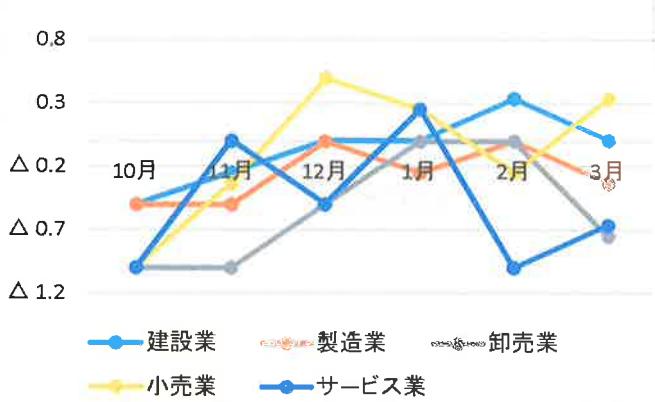
全業種(DI値)



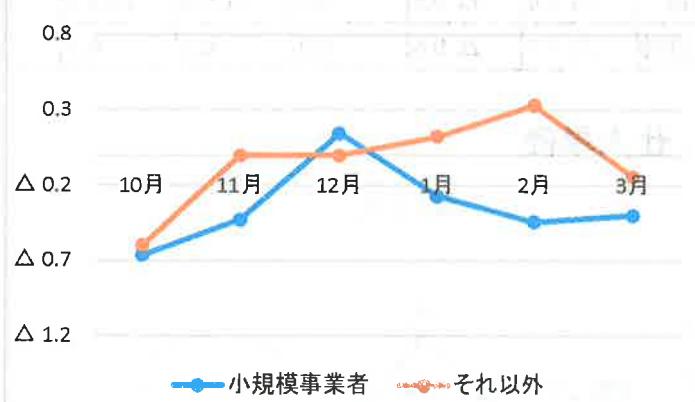
3月の全業種DI値を見ると、売上高が△0.3、仕入単価が△0.4、業況が△0.5で各々前月比-0.2ポイント、採算が△0.4で-0.3ポイント、資金繰りが△0.2で-0.1ポイント下落。従業員が△0.3で横ばいという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



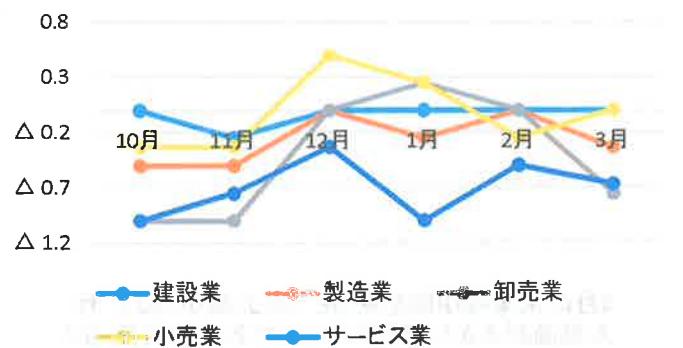
売上DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△0.6	△0.5	△0.2	△0.1	△0.1	△0.3
建設	△0.5	△0.3	0.0	0.0	0.3	0.0
製造	△0.5	△0.5	0.0	△0.3	0.0	△0.3
卸売	△1.0	△1.0	△0.5	0.0	0.0	△0.8
小売	△1.0	△0.3	0.5	0.3	△0.3	0.3
サービス	△1.0	0.0	△0.5	0.3	△1.0	△0.7
小規模	△0.7	△0.4	0.1	△0.3	△0.4	△0.4
それ以外	△0.6	0.0	0.0	0.1	0.3	△0.1

全産業の売上DIは△0.3で前月比-0.2ポイント下落。
業種別に見てみると、小売業が前月比+0.6ポイント、サービス業で+0.3ポイント上昇。一方、建設業・製造業では前月比-0.3ポイント、卸売業においては-0.8ポイントの下落であった。
規模別に見ると、小規模事業者では横ばい、それ以外の事業所では前月比-0.4ポイント下落している。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△0.5	△0.5	0.0	△0.1	△0.1	△0.4
建設	0.0	△0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△0.5	△0.5	0.0	△0.3	0.0	△0.3
卸売	△1.0	△1.0	0.0	0.3	0.0	△0.8
小売	△0.3	△0.3	0.5	0.3	△0.3	0.0
サービス	△1.0	△0.8	△0.3	△1.0	△0.5	△0.7
小規模	△0.6	△0.6	0.0	△0.3	△0.3	△0.4
それ以外	△0.4	△0.4	0.3	0.1	0.2	△0.3

全産業の採算DIは△0.4で前月比-0.3ポイント悪化。

業種別にみると小売業で前月比+0.3ポイント上昇。製造業では卸売業が前月比-0.3ポイント、卸売業が-0.8ポイント、サービス業が-0.2ポイント悪化している。建設業においては横ばい。

規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.1ポイント、それ以外では-0.5ポイントの悪化となっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

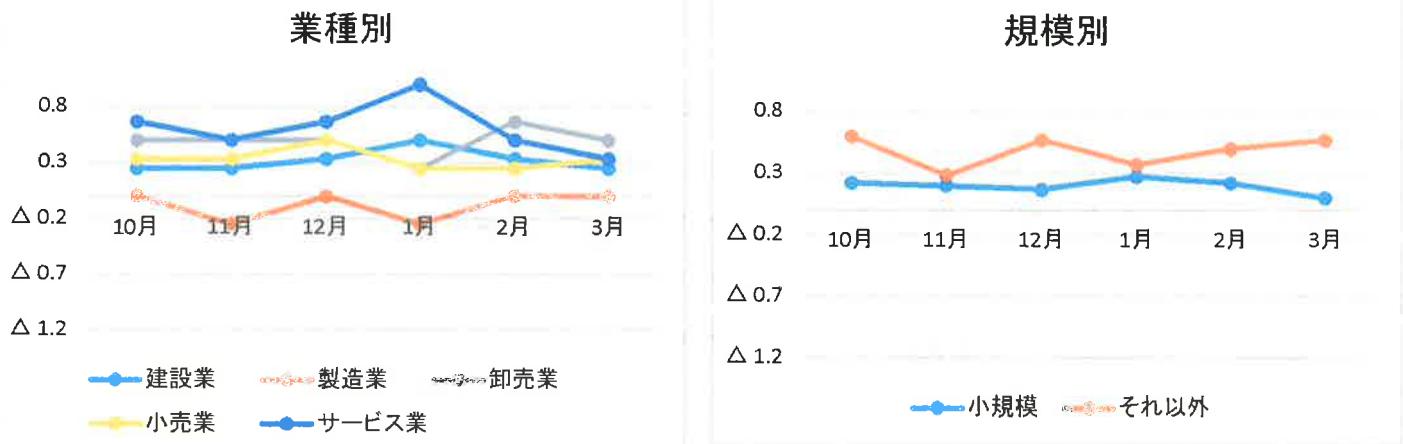
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△0.5	△0.5	△0.4	△0.6	△0.2	△0.4
建設	△0.3	△0.3	△0.3	△0.5	△0.3	△0.5
製造	△0.5	△0.3	0.5	△0.3	0.3	0.0
卸売	△1.0	△1.0	△1.0	△0.8	0.0	△0.5
小売	△0.3	△0.7	△0.7	△0.5	△0.3	0.0
サービス	△0.7	△0.8	0.3	△1.0	△1.0	△0.7
小規模	△0.4	△0.6	△0.6	△0.5	△0.3	△0.2
それ以外	△0.6	△0.4	0.0	△0.8	0.0	△0.6

仕入単価の全産業DIは△0.4で前月比-0.2ポイント。

業種別にみると、小売業・サービス業が前月比+0.3ポイント上昇。一方建設業が前月比-0.2ポイント、製造業が-0.3ポイント、卸売業が-0.5ポイントの下落。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント、それ以外では-0.6ポイントの下落。

5. 従業員



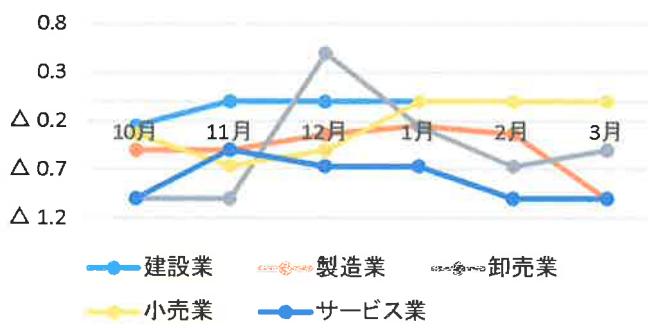
従業員DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	0.4	0.2	0.4	△ 0.6	0.3	0.3
建設	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3
製造	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	0.0
卸売	0.5	0.5	0.5	0.3	0.7	0.5
小売	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3
サービス	0.7	0.5	0.7	1.0	0.5	0.3
小規模	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
それ以外	0.6	0.3	0.6	0.4	0.5	0.6

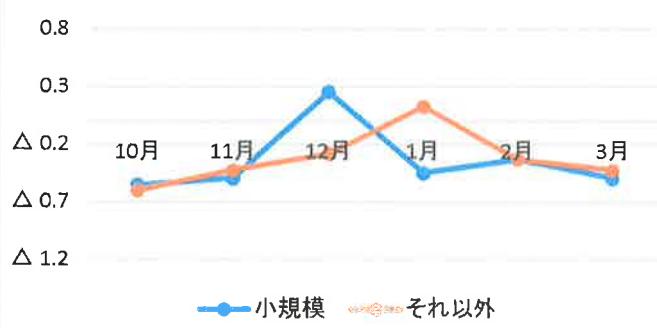
従業員の全産業DIは0.3で横ばい。
業種別にみると、卸売業・サービス業で前月比-0.2ポイントの下落、それ以外の業種については横ばい。
規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.1ポイント、それ以外では+0.1ポイントとなっている。

6. 業況

業況DIの推移



規模別



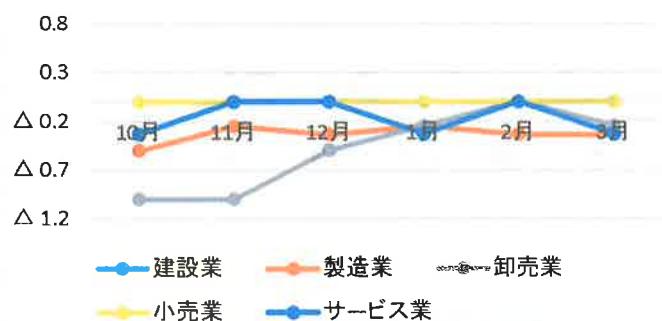
業況DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	0.3	△ 0.3	△ 0.5
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 1.0	0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5
小売	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	0.0	0.0	0.0
サービス	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.6	△ 0.5	0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5
それ以外	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3	0.1	△ 0.3	△ 0.4

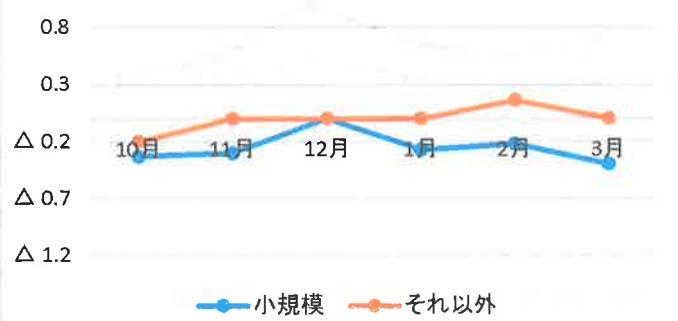
業況の全産業DIは△0.5で前月比-0.2ポイント悪化。
業種別にみると、製造業・卸売業で前月比+0.2ポイント好転、その他の業種においては横ばい。
規模別にみると、小規模事業者については前月比-0.2ポイント、それ以外では-0.1ポイント悪化している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△0.3	△0.2	△0.2	△0.2	△0.1	△0.2
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△0.3
製造	△0.5	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3
卸売	△1.0	△1.0	△0.5	△0.3	0.0	△0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	△0.3	0.0	0.0	△0.3	0.0	△0.3
小規模	△0.3	△0.3	0.0	△0.3	△0.2	△0.4
それ以外	△0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0

資金繰りの全産業合計DIは△0.2となっており、前月比-0.1ポイント。

業種別にみると、建設業・卸売業・サービス業で前月比-0.3ポイントの悪化、製造業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者・それ以外で前月比-0.2ポイントという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【賃上げの動向について】

1-1 貴社の正社員における2019年度の賃上げの実績について

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため、賃上げを実施した	1			1		2
②業績の改善がみられないが、賃上げを実施した	1	1	3	1	1	7
③賃上げは見送った	2	2	1		1	6

1-2 1-1で①・②と回答した場合、正社員の賃上げの内容について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した	1	1	2	2		6
②ベースアップを実施した	1		2	2	1	6
③手当の新設・増額(例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)						0
④一時金(賞与)を増額した				1	1	2

2.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

2-1 新型肺炎による経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている		2	3	1	1	7
②今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある	3	1	1	2	2	9
③影響はない	1					1
④分からない						0

2-2 2-1で①・②と回答した場合 具体的な影響(懸念含む)について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①製品・サービスの受注・売上減少、客数減少	2	1	4	3	3	13
②自社の生産拠点・仕入れ先の変更に伴う調達コストの上昇	1				1	2
③取引先の生産拠点・仕入れ先の変更に伴う調達コストの上昇	1				1	2
④従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増				2	1	3
⑤サプライチェーンへの打撃による納期遅れ	2	1	2			5
⑥為替や株価の変動に伴う消費マインドの悪化		1	1		1	3
⑦イベント・商談会等の延期・中止に伴う受注・販売機会の喪失	2	3		1	1	7
⑧資金繰りの悪化		1	3			4
⑨小中高校等の一斉休校への対応に伴う影響			1	2	1	4
⑩その他						0

2-3 2-1で①・②と回答した場合 感染拡大に対する経営上の対策について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①製品・サービスの生産・販売計画の見直し	1	1	3	2		7
②商品・部品等の代替調達先の検討・確保	2		2	1	1	6
③価格の見直し	1		2			3
④設備投資計画の見直し						0
⑤物流ルートの見直し	1		2			3
⑥自社主催の商談会・セミナー・イベント等の中止・延期		1		1		2
⑦他社主催の商談会・セミナー・イベント等への参加中止		1		1		2
⑧採用計画の見直し(外国人材含む)				1		1
⑨金融機関等への資金相談		1	1		2	4
⑩従業員の勤務体制の見直し(時差出勤、テレワークの導入など)			1		1	2
⑪その他						0
⑫対策は行わない						0

付帯調査まとめ

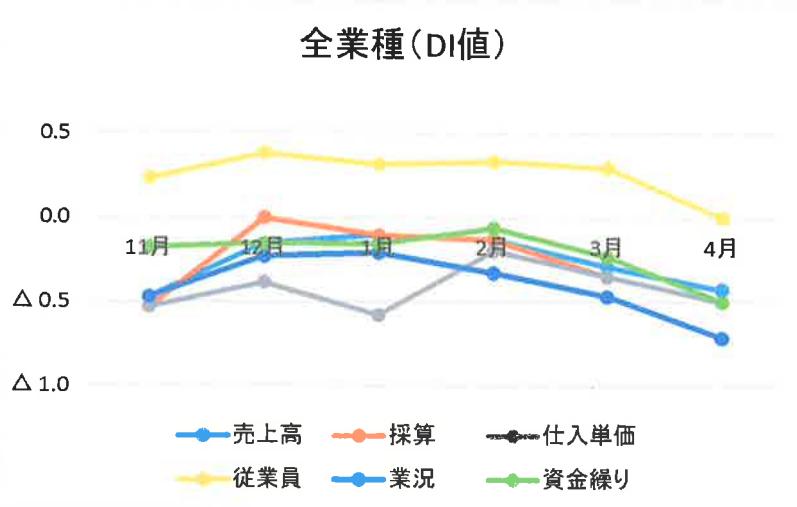
賃上げ動向に関する付帯調査では、賃上げを実施した、見送ったとの回答が割れる結果となった。その中でも、賃上げ実施の中身としては、定期昇給・ベースアップの実施が多く挙げられている。

新型コロナウイルスによる影響に関する付帯調査では、現在経営に影響が生じている、長期化すると影響が出る懸念があると回答する事業所が殆どであった。具体的な影響(懸念含む)としては、商品・サービスの受注・売上減少、客数減少という回答が最も多く、次いでイベント・商談会等の延期・中止に伴う受注・販売機会の喪失、との回答が多くみられる。また感染拡大に対する経営上の対策として、製品・サービスの生産・販売計画の見直し及び代替調達先の検討・確保、金融機関等への資金相談等の対策を行っているという回答が多い結果となった。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年4月分)

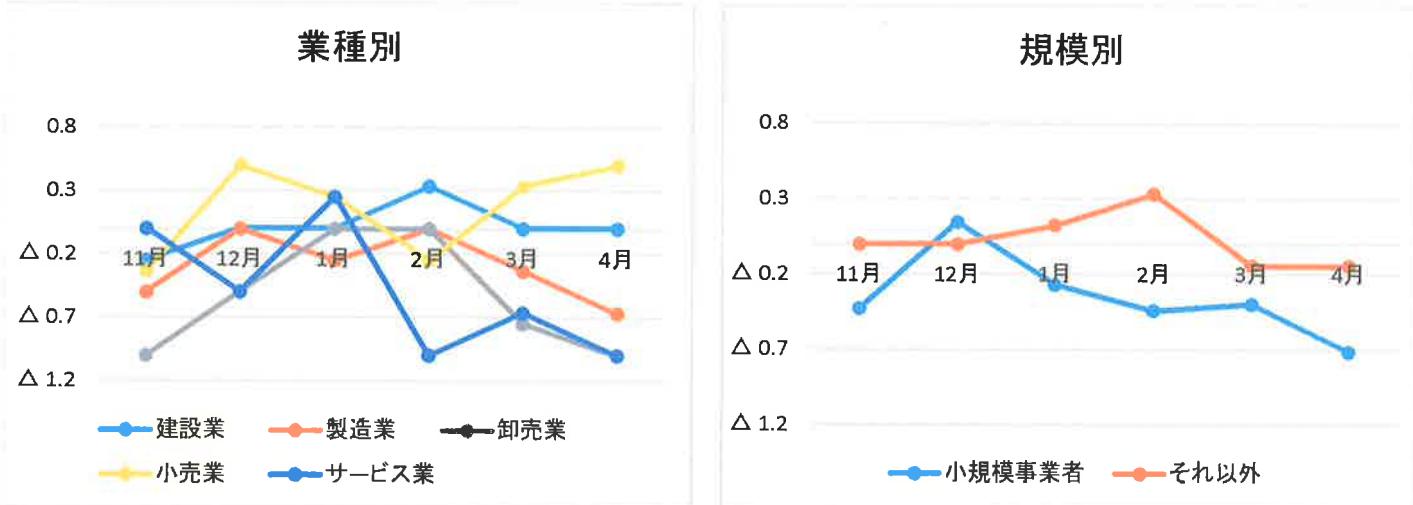
実施期間: 令和2.4.14~4.20 回答事業所: 14事業所

1. 全業種DI値



4月の全業種DI値を見ると、売上高が△0.4、採算・仕入単価が△0.5で各々前月比-0.1ポイント、従業員が0.0、資金繰りが△0.5で-0.3ポイント、業況が△0.7で-0.2ポイント下落という結果であった。

2. 売上高



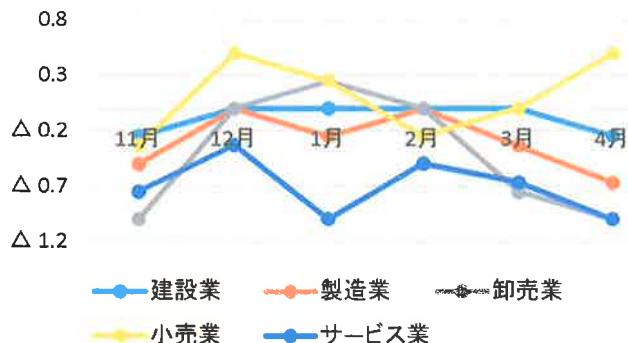
売上DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.7
卸売	△ 1.0	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.8	△ 1.0
小売	△ 0.3	0.5	0.3	△ 0.3	0.3	0.5
サービス	0.0	△ 0.5	0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0
小規模	△ 0.4	0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.7
それ以外	0.0	0.0	0.1	0.3	△ 0.1	△ 0.1

全産業の売上DIは△0.4で前月比-0.1ポイント下落。業種別に見てみると、小売業が前月比+0.2ポイント上昇。一方で製造業が前月比-0.4ポイント、卸売業で-0.2ポイント、サービス業で-0.3ポイントの下落、建設業では横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比-0.4ポイント下落、それ以外の事業所では横ばい。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△0.5	0.0	△0.1	△0.1	△0.4	△0.5
建設	△0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△0.3
製造	△0.5	0.0	△0.3	0.0	△0.3	△0.7
卸売	△1.0	0.0	0.3	0.0	△0.8	△1.0
小売	△0.3	0.5	0.3	△0.3	0.0	0.5
サービス	△0.8	△0.3	△1.0	△0.5	△0.7	△1.0
小規模	△0.6	0.0	△0.3	△0.3	△0.4	△0.7
それ以外	△0.4	0.3	0.1	0.2	△0.3	△0.3

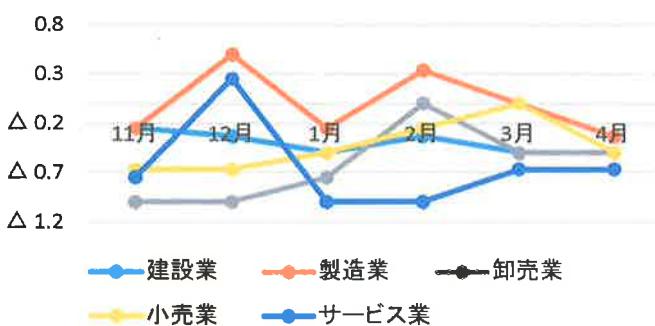
全産業の採算DIは△0.5で前月比-0.1ポイント下落。

業種別にみると小売業で前月比+0.5ポイント上昇。建設業・サービス業では前月比-0.3ポイント、製造業では-0.4ポイント、卸売業が-0.2ポイント悪化している。。

規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.3ポイント、それ以外では横ばいとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

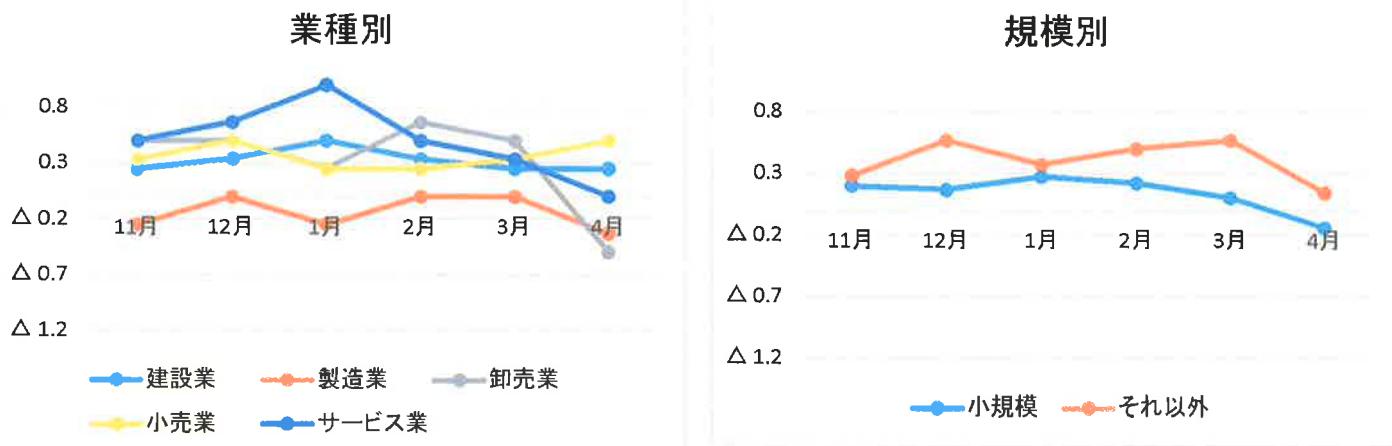
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△0.5	△0.4	△0.6	△0.2	△0.4	△0.5
建設	△0.3	△0.3	△0.5	△0.3	△0.5	△0.5
製造	△0.3	0.5	△0.3	0.3	0.0	△0.3
卸売	△1.0	△1.0	△0.8	0.0	△0.5	△0.5
小売	△0.7	△0.7	△0.5	△0.3	0.0	△0.5
サービス	△0.8	0.3	△1.0	△1.0	△0.7	△0.7
小規模	△0.6	△0.6	△0.5	△0.3	△0.2	△0.3
それ以外	△0.4	0.0	△0.8	0.0	△0.6	△0.7

仕入単価の全産業DIは△0.5で前月比-0.1ポイント。

業種別にみると、製造業は前月比-0.3ポイント、小売業が-0.5ポイント下落。建設業・卸売業・サービス業では横ばいという結果。

規模別にみると、小規模事業者・それ以外とも前月比-0.1ポイントの下落。

5. 従業員



従業員DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	0.2	0.4	△ 0.6	0.3	0.3	0.0
建設	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3
卸売	0.5	0.5	0.3	0.7	0.5	△ 0.5
小売	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5
サービス	0.5	0.7	1.0	0.5	0.3	0.0
小規模	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	△ 0.1
それ以外	0.3	0.6	0.4	0.5	0.6	0.1

従業員の全産業DIは0.0で前月比-0.3ポイント下落している。

業種別にみると、小売業で前月比+0.2ポイント上昇、製造業・サービス業が-0.3ポイント、卸売業が-1.0ポイント下落している。建設業については横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.2ポイント、それ以外では-0.5ポイントの下落となっている。

6. 業況



業況DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.5	△ 0.2	0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 1.0	0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0
小売	△ 0.7	△ 0.5	0.0	0.0	0.0	△ 0.5
サービス	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.5	0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7

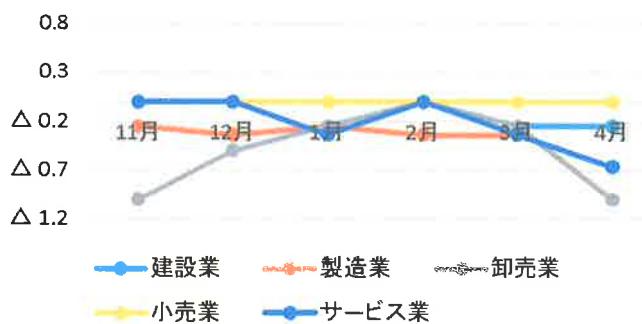
業況の全産業DIは△0.7で前月比-0.2ポイント悪化。

業種別にみると、建設業は前月比-0.3ポイント、卸売業・小売業で-0.5ポイント悪化、製造業・サービス業では横ばい。

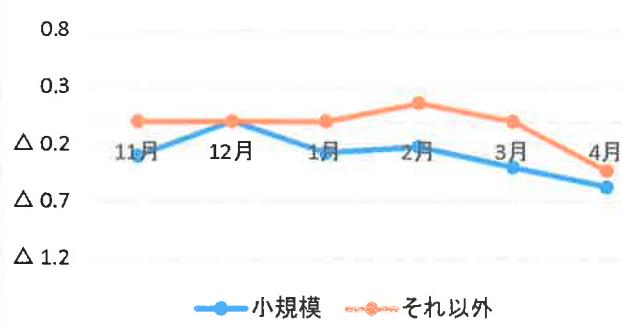
規模別にみると、小規模事業者については前月比-0.2ポイント、それ以外では-0.3ポイント悪化している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△0.2	△0.2	△0.2	△0.1	△0.2	△0.5
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	△0.3	△0.3
製造	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3	△0.7
卸売	△1.0	△0.5	△0.3	0.0	△0.3	△1.0
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.0	0.0	△0.3	0.0	△0.3	△0.7
小規模	△0.3	0.0	△0.3	△0.2	△0.4	△0.6
それ以外	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	△0.4

資金繰りの全産業合計DIは△0.5となっており、前月比-0.3ポイント。

業種別にみると、製造業・サービス業で前月比-0.4ポイント、卸売業が-0.7ポイントの悪化、建設業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者が前月比-0.2ポイント、それ以外で-0.4ポイントという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【採用活動についてについて】

1－1 2019年度の採用（2019年4月～2020年3月入社）について

	建	製	卸	小	サ	合計
①正社員を新卒採用した	1	1		1		3
②正社員を中途採用した			1	1	2	5
③非正規社員を採用した				1		1
④募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった	1					1
⑤そもそも募集しなかった	2	1	1		1	5

1－2 1－1で選択肢①～③と回答した場合 採用における充足状況について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒採用の正社員を予定した人数確保できた	1			1		2
②中途採用の正社員を予定した人数確保できた			1	1	2	4
③正規社員を予定した人数確保できた						0
④新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった			1			1
⑤中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった					1	1
⑥非正規社員を予定した人数確保できなかった						0

2.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

2－1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	1	2	1		2	6
②今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある	3	2		1		6
③影響はない						0
④分からない						0

2－2 2－1で①と回答した場合、資金繰りの状況について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①金融機関への相談、既往債務の返済猶予等の条件変更を受けた		1				1
②金融機関への相談、希望する額・条件での新規融資を受けた						0
③金融機関への相談を行ったが融資希望額より少ない額又は短期間での返済となった						0
④金融機関への相談を行ったが融資条件変更を受けられなかった						0
⑤金融機関への相談を行ったが、他の金融機関へ回された						0
⑥金融機関への相談を行い、相談・審査待ちの状況					2	2
⑦ノンバンクからの借入を検討・実施						0
⑧資金繰りに不安はあるが、現時点では相談はしていない	1	1				2
⑨資金相談は現時点で必要ない						0

2－3 2－1で①と回答した場合 今年度の雇用や採用関連の動きについて(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒採用(正社員)を縮小・見送る						0
②中途採用(正社員)を縮小・見送る						0
③パート・アルバイト等(非正規社員)の採用を縮小・見送る		1				1
④派遣労働者の人数を縮小、労働者の派遣自体を見送る						0
⑤正社員の休業を実施		1			1	2
⑥パート・アルバイト等(非正規社員)の休業を実施						0
⑦派遣契約を維持した上で、派遣労働者の休業を実施						0
⑧従業員の人員整理(整理解雇、雇止め等)を検討・実施						0
⑨雇用調整助成金の申請を検討している		2			2	4
⑩雇用調整助成金を申請し審査・手続き中						0
⑪雇用調整助成金を申請し、すでに支給された						0
⑫雇用調整助成金制度が分からない、手続きが煩雑であるため申請は行わない						0

付帯調査まとめ

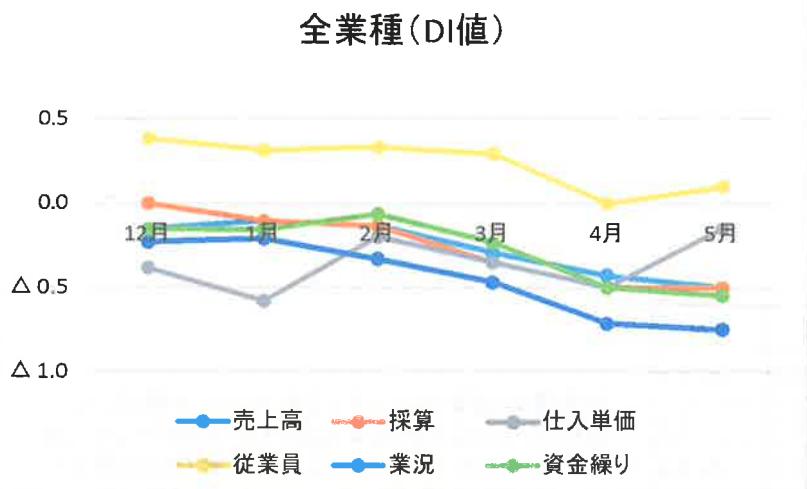
2019年度の採用に関する付帯調査では、正社員・非正規社員を採用したと答えた事業所が6割、そもそも募集をしなかったという事業所は約3割であった。採用を行ったとする事業所の充足状況について、約6割が採用予定期数の確保が出来たと回答している。

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じている、今のところ影響は出でていないが長期化すると影響が出る懸念があると答えた事業所で半々という結果であった。影響が生じている場合の資金繰り状況について、金融機関への相談、また一方で資金繰りに不安はあるが、現時点では相談はしていないとの回答があった。今年度の雇用や採用関連の動きについて、休業の実施や雇用調整助成金の申請を検討しているという回答が挙げられている。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年5月分)

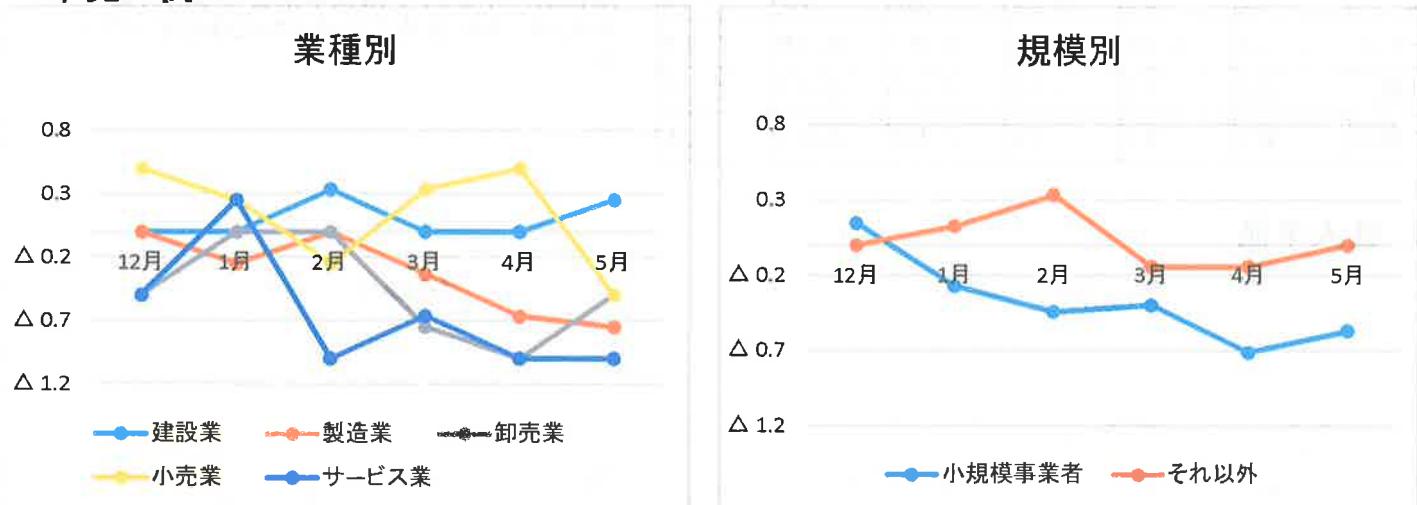
実施期間: 令和2.5.14~5.20 回答事業所: 20事業所

1. 全業種DI値



5月の全業種DI値を見ると、売上高が△0.5、業況が△0.8で前月比-0.1ポイント、業況が△0.8で-0.3ポイント下落。従業員が0.1で前月比+0.1ポイント、仕入単価が△0.2で+0.3ポイント上昇。採算は変化なしという結果であった。

2. 売上高



売上DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5
建設	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
製造	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8
卸売	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5
小売	0.5	0.3	△ 0.3	0.3	0.5	△ 0.5
サービス	△ 0.5	0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0
小規模	0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6
それ以外	0.0	0.1	0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0

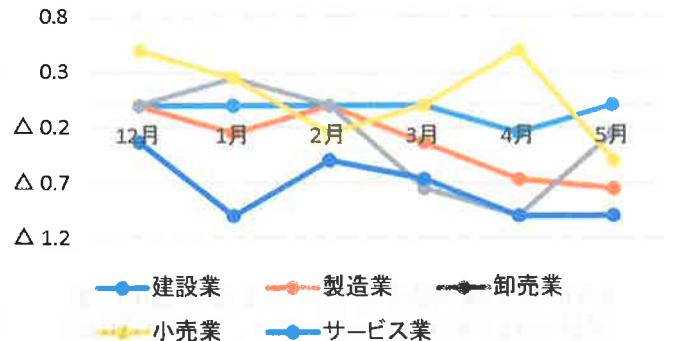
全産業の売上DIは△0.5で前月比-0.1ポイント下落。

業種別に見てみると、建設業が前月比+0.3ポイント、卸売業が+0.5ポイント上昇。一方で製造業が前月比-0.1ポイント、小売業で-1.0ポイントの下落、サービス業では横ばいという結果であった。

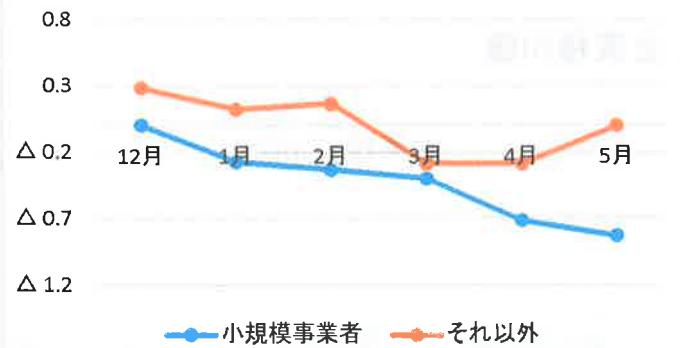
規模別に見ると、小規模事業者・それ以外の事業所とも前月比+0.1ポイント上昇。

3. 採算

業種別



規模別



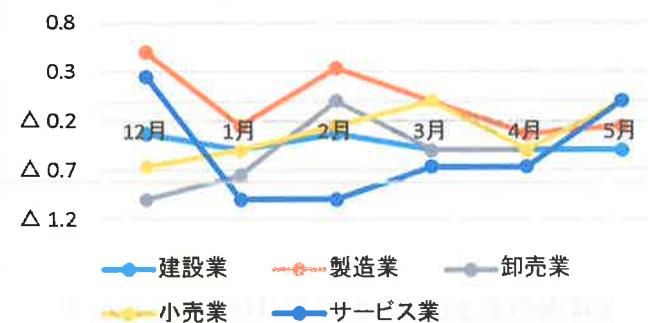
採算DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.0
製造	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8
卸売	0.0	0.3	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.3
小売	0.5	0.3	△ 0.3	0.0	0.5	△ 0.5
サービス	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0
小規模	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.8
それ以外	0.3	0.1	0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0

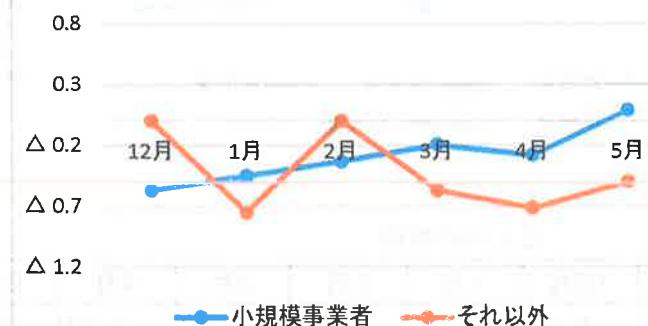
全産業の採算DIは△0.5で前月と比べ横ばい。業種別にみると建設業は前月比+0.3ポイント、卸売業は+0.7ポイントの上昇。製造業では前月比-0.1ポイント、小売業で-1.0ポイント悪化している。サービス業では横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.1ポイント、それ以外では+0.3ポイントとなってい
る。

4. 仕入単価

業種別



規模別

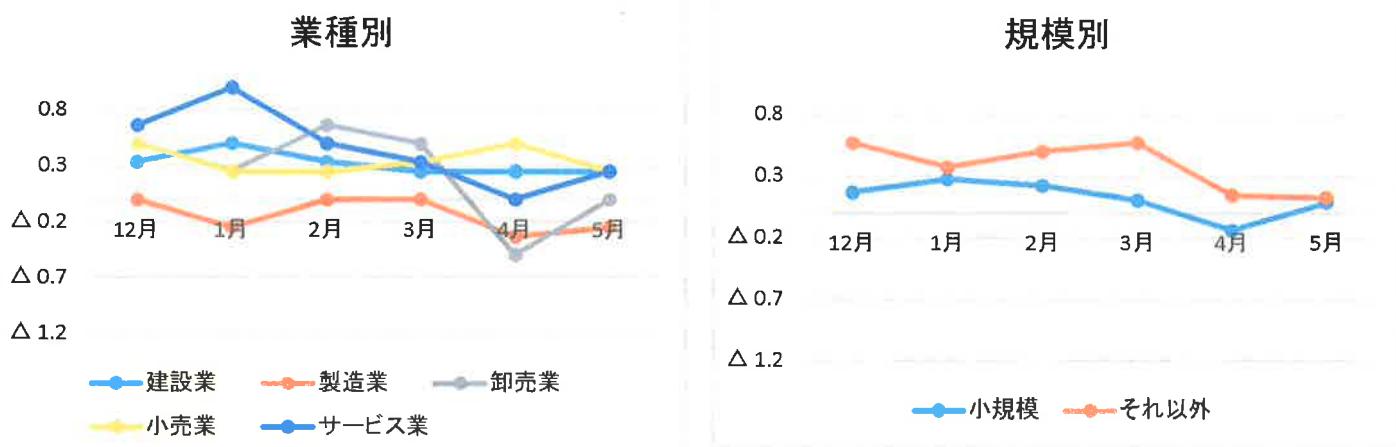


仕入単価DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.2
建設	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
製造	0.5	△ 0.3	0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 1.0	△ 0.8	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0
小売	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3	0.0	△ 0.5	0.0
サービス	0.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7	0.0
小規模	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	0.1
それ以外	0.0	△ 0.8	0.0	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.5

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月比+0.3ポイ
ント。
業種別にみると、卸売業・小売業は前月比+0.5
ポイント、サービス業では+0.7ポイント上昇して
いる建設業・製造業では横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.4ポイ
ント、それ以外は+0.2ポイントの上昇であった。

5. 従業員



従業員DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	0.4	△ 0.6	0.3	0.3	0.0	0.1
建設	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.5	0.3	0.7	0.5	△ 0.5	0.0
小売	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3
サービス	0.7	1.0	0.5	0.3	0.0	0.3
小規模	0.2	0.3	0.2	0.1	△ 0.1	0.1
それ以外	0.6	0.4	0.5	0.6	0.1	0.1

従業員の全産業DIは0.1で前月比+0.1ポイント上昇している。
業種別にみると、卸売業は前月比+0.5ポイント、サービス業が+0.3ポイント上昇。小売業が-0.2ポイント下落、建設業・製造業については横ばい。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント、それ以外では変化なしとなっている。

6. 業況



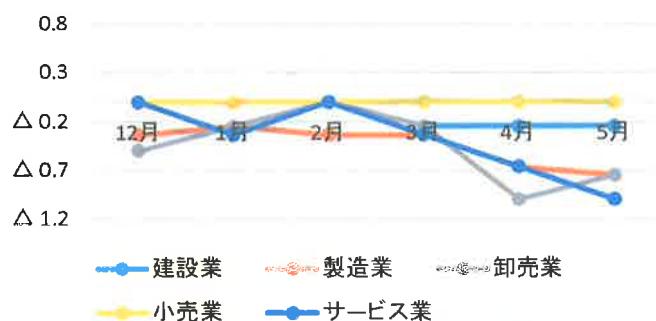
業況DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.2	0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.0
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0
小売	△ 0.5	0.0	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.8
サービス	△ 0.7	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8
それ以外	△ 0.3	0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6

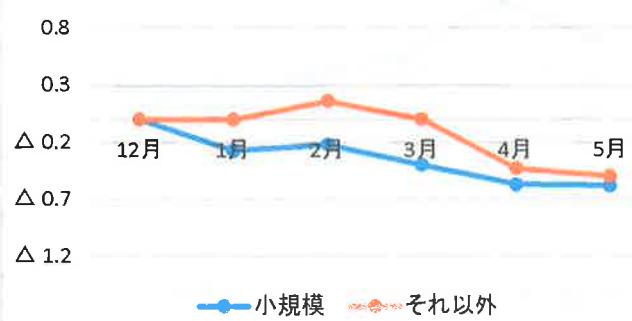
業況の全産業DIは△0.8で前月比-0.1ポイント悪化。
業種別にみると、建設業では+0.3ポイント上昇、小売業は前月比-0.3ポイント悪化。製造業・卸売業・サービス業では横ばいであった。
規模別にみると、小規模事業者については前月比-0.1ポイント悪化、それ以外では+0.1ポイント上昇している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△0.2	△0.2	△0.1	△0.2	△0.5	△0.8
建設	0.0	0.0	0.0	△0.3	△0.3	△0.3
製造	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3	△0.7	△0.8
卸売	△0.5	△0.3	0.0	△0.3	△1.0	△0.8
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.0	△0.3	0.0	△0.3	△0.7	△1.0
小規模	0.0	△0.3	△0.2	△0.4	△0.6	△0.6
それ以外	0.0	0.0	0.2	0.0	△0.4	△0.5

資金繰りの全産業合計DIは△0.8となっており、前月比-0.3ポイント。

業種別にみると、卸売業は前月比+0.2ポイント上昇。一方で製造業は前月比-0.1ポイント、サービス業が-0.3ポイントの悪化。建設業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は横ばい、それ以外では前月比-0.1ポイントという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【設備投資について】

1-1 2018年度と比較した場合の2019年度の設備投資(国内のみ)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施	1				1	2
②2018年度と同水準で実施	1			1	1	3
③規模を縮小して実施		2	2		1	5
④実施しなかった	2	1	2	3	1	9

1-2 2019年度と比較した場合の2020年度の設備投資(国内・海外問わず)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施予定(実施済み含む)						0
②2019年度と同水準で実施予定(実施済み含む)	1					1
③規模を縮小して実施予定(実施済み含む)		1	1		1	3
④実施しない・見送る(予定含む)	1	2	2	3		8
⑤現時点では未定	2		1	1	3	7

2.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

2-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	2	4	4	3	4	17
②今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある	2			1		3
③影響はない						0
④分からない						0

2-2 テレワークの状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①実施している	1			2		3
②実施を検討している						0
③テレワーク可能な業務はあるが、実施しない		1				1
④テレワーク可能な業務がないため、実施しない	2	3	4	2	4	15

2-3 2-2で③と回答したした場合 テレワークを実施しない理由について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①社内体制が整っていない(決裁手段・労務管理・評価など)		1				1
②パソコンやスマートフォン等の機器やネットワーク環境(LAN等)の設備が十分ではない		1				1
③セキュリティ上の不安がある		1				1
④るクラウドなどのソフトウェアの整備が十分ではない		1				1
⑤導入コストの負担が大きい		1				1
⑥導入に必要なITの知識を持つ人材がない						0
⑦事業計画の見直し等、他の対応に忙しく、手が回らない		1				1
⑧テレワーク可能な従業員は一部であり、コストが見合わない・不公平感が生じる						0
⑨補助金が使いづらい(申請手続きが複雑、補助率が低い等)						0
⑩その他						0

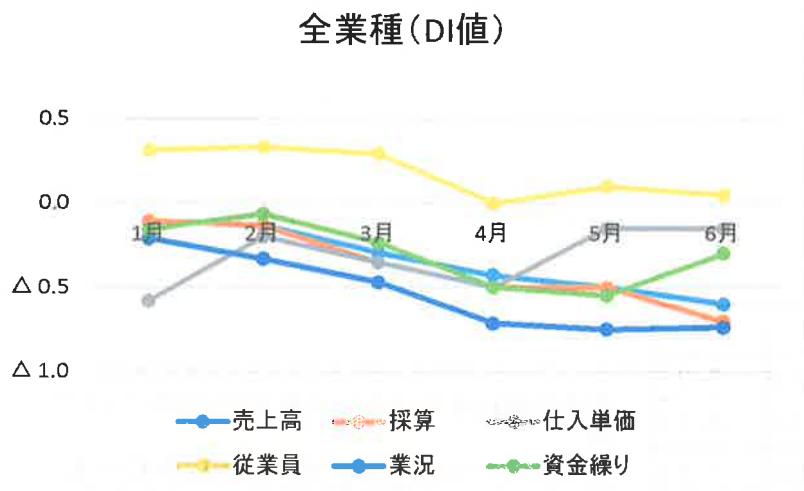
付帯調査まとめ

設備投資に関する付帯調査では、2018年度と比較した場合の2019年度の状況について、規模の拡大や縮小で実施したと答える事業所と、設備投資を行っていないと答える事業所はほぼ同数という結果であった。新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じているとの回答が8割以上であり、先月の調査より増加している。テレワークの状況に関する設問では、テレワーク可能な業務がないため、実施しないとの回答が多かった。テレワーク可能な業務はあるが実施しないと答えた事業所は1社のみ、その理由としては社内体制・整備・セキュリティ・コスト等が挙げられている。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年6月分)

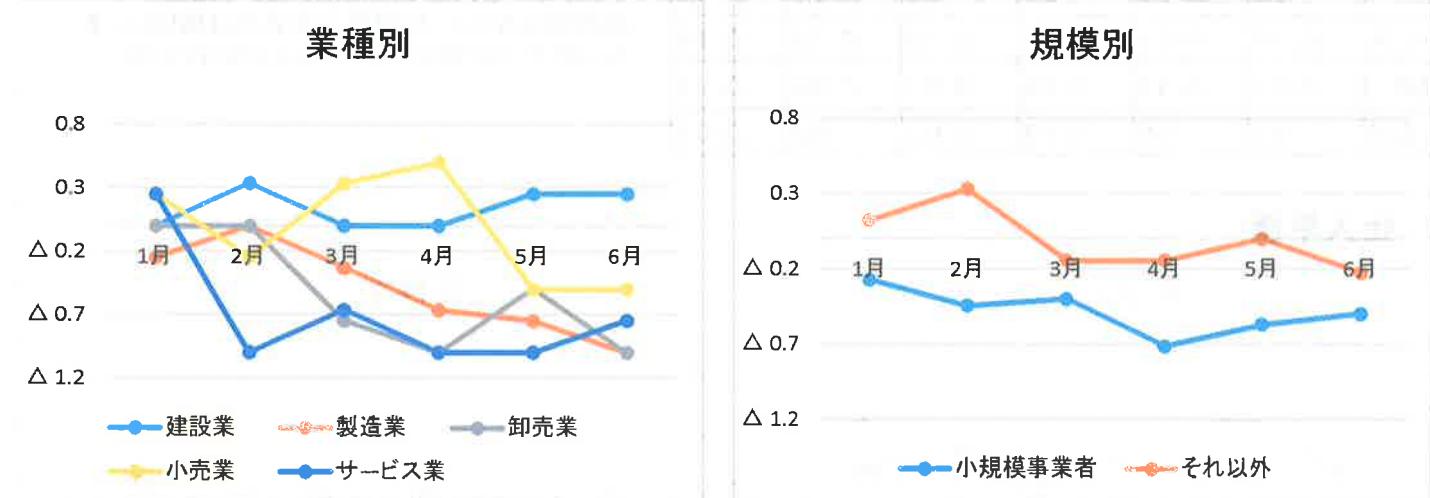
実施期間: 令和2.6.15~6.18 回答事業所: 20事業所

1. 全業種DI値



6月の全業種DI値を見ると、売上高が△0.6で前月比-0.1ポイント、採算が△0.7で-0.2ポイントの下落。一方業況が△0.7で前月比+0.1ポイント、資金繰りが△0.3で+0.5ポイント上昇している。仕入単価、従業員は変化なしという結果であった。

2. 売上高



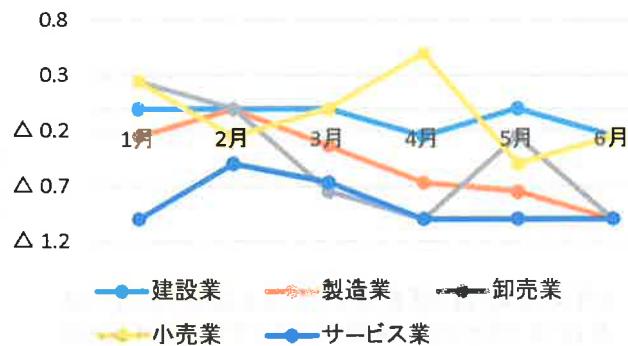
売上DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6
建設	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3
製造	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0
卸売	0.0	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0
小売	0.3	△ 0.3	0.3	0.5	△ 0.5	△ 0.5
サービス	0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
小規模	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.5
それ以外	0.1	0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2

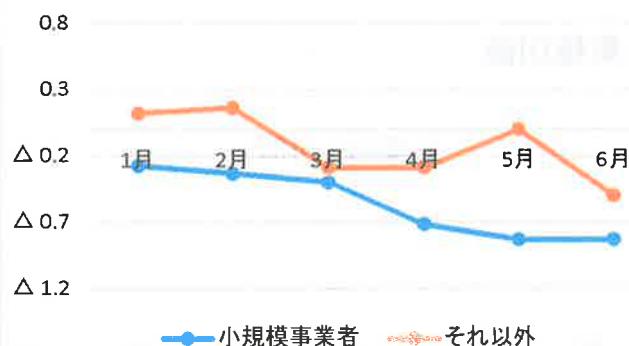
全産業の売上DIは△0.6で前月比-0.1ポイント下落。業種別に見てみると、サービス業が前月比+0.2ポイント上昇。製造業では前月比-0.2ポイント、卸売業が-0.5ポイントの下落している。建設業・小売業においては横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比+0.1ポイント、それ以外の事業所では-0.2ポイントとなっている。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7
建設	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3
製造	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0
卸売	0.3	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0
小売	0.3	△ 0.3	0.0	0.5	△ 0.5	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8
それ以外	0.1	0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.5

全産業の採算DIは△0.7で前月比-0.2ポイント下落。

業種別にみると小売業が前月比+0.2ポイント上昇している。一方建設業は前月比-0.3ポイント、製造業は-0.2ポイント、卸売業は-0.7ポイントの下落、サービス業では横ばいという結果。

規模別にみると、小規模事業者では横ばい、それ以外では前月比-0.5ポイントとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

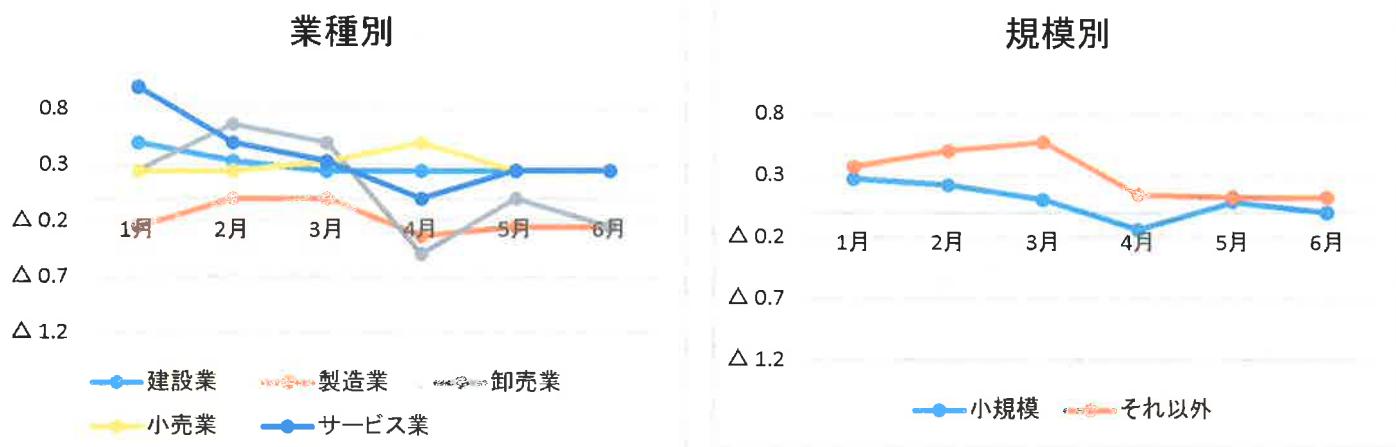
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2
建設	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
製造	△ 0.3	0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.3
卸売	△ 0.8	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.5
小売	△ 0.5	△ 0.3	0.0	△ 0.5	0.0	0.0
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7	0.0	△ 0.3
小規模	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	0.1	△ 0.2
それ以外	△ 0.8	0.0	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.1

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月と比べ横ばいであった。

業種別にみると、建設業で前月比+0.2ポイント、製造業で+0.6ポイント上昇している。一方で卸売業が前月比-0.5ポイント、サービス業が-0.3ポイント下落となっている。小売業では横ばいであった。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.3ポイントの下落、それ以外は+0.4ポイントの上昇であった。

5. 従業員



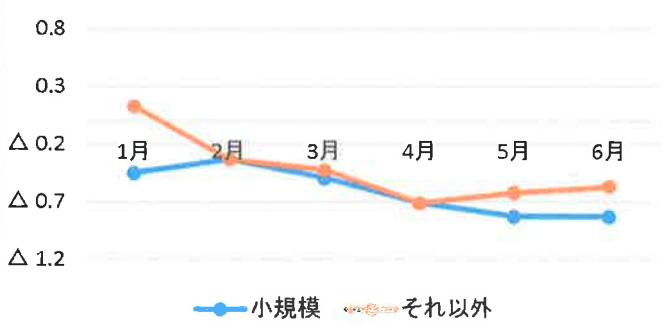
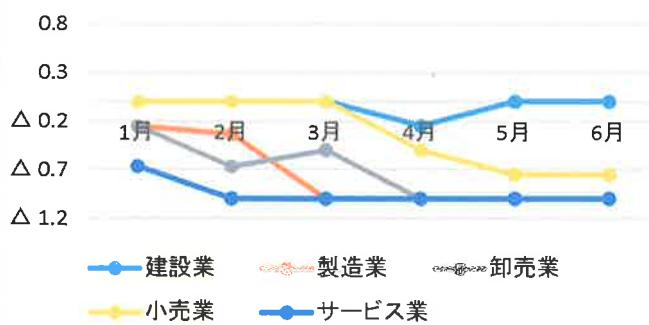
従業員DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.6	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1
建設	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.3	0.7	0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3
小売	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3
サービス	1.0	0.5	0.3	0.0	0.3	0.3
小規模	0.3	0.2	0.1	△ 0.1	0.1	0.0
それ以外	0.4	0.5	0.6	0.1	0.1	0.1

従業員の全産業DIは0.1で横ばいとなっている。業種別にみると、卸売業は前月比-0.6ポイントの下落。それ以外の業種については横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.1ポイント、それ以外では変化なしとなっている。

6. 業況

業況DIの推移



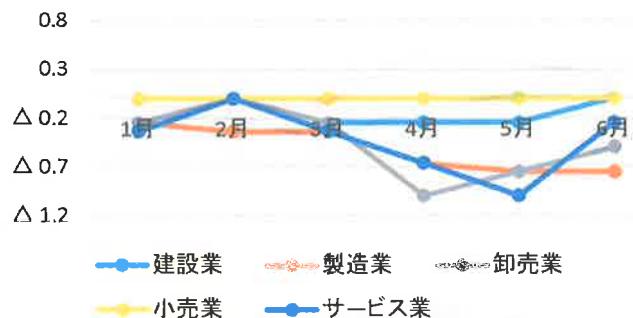
業況DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7
建設	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小売	0.0	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8
それ以外	0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6

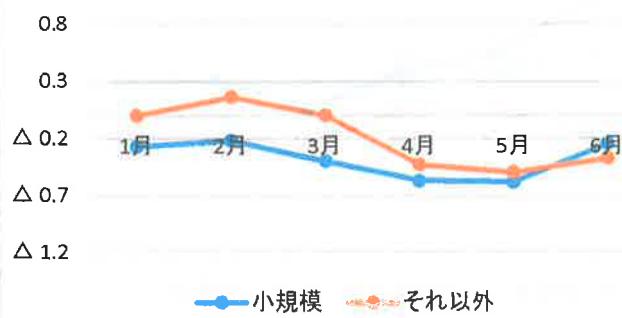
業況の全産業DIは△0.7で前月比+0.1ポイント。業種別にみると、すべての業種において「悪化」の回答、数値は横ばいであった。
規模別にみても、小規模事業者、それ以外で横ばいとなっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△0.2	△0.1	△0.2	△0.5	△0.8	△0.3
建設	0.0	0.0	△0.3	△0.3	△0.3	0.0
製造	△0.3	△0.3	△0.3	△0.7	△0.8	△0.8
卸売	△0.3	0.0	△0.3	△1.0	△0.8	△0.5
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	△0.3	0.0	△0.3	△0.7	△1.0	△0.3
小規模	△0.3	△0.2	△0.4	△0.6	△0.6	△0.3
それ以外	0.0	0.2	0.0	△0.4	△0.5	△0.4

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、前月比+0.5ポイント。

業種別にみると、建設業・卸売業では前月比+0.3ポイント、サービス業で0.7ポイント上昇。製造業・小売業では横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.3ポイント、それ以外では+0.1ポイント上昇という結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスの影響による雇用環境や賃金動向について】

1-1 2020年度(2020年4月～2021年3月)の賃上げ状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	1			1		2
②業績の改善がみられないが(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)		1	1	1	2	5
③賃金は同水準を維持する	2	3	3	1	2	11
④賃金は引き下げる						0
⑤現時点では未定		1				1

1-2 1-1で①～②と回答したした場合、賃上げの内容について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)	1	1	1	1		4
②ベースアップを実施した(予定含む)				2	1	3
③手当の新設・増額(予定含む)(例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)					1	1
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)						0

2.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

2-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	2	3	2	2	3	12
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	2	1	2	2	1	8
③影響はない						0
④分からない						0

2-2 事業継続と感染防止拡大の両立にあたって実施している対応について

	建	製	卸	小	サ	合計
①時差出勤の実施						0
②テレワークの実施				1		1
③ローテーション勤務の導入			1	1	2	4
④フレックスタイム制の導入による柔軟な勤務体制整備		1				1
⑤出張の原則禁止・制限	1	1		1		3
⑥営業時間の短縮・営業日数の削減	1	2	2	2	2	9
⑦会議やの開催頻度・時間・人数の削減・制限	2	2	1	2		7
⑧会議・東議等のオンライン化		1		2		3
⑨キャッシュレス等の電子決済の導入				1	1	2
⑩店舗・オフィス等のレイアウトの見直し	1	1	1	2	1	6
⑪店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、消毒徹底	2	2	2	4	4	14
⑫「新しい生活様式」に対応した商品・サービスの提供			2		1	3
⑬その他						0
⑭特別な対応は取っていない	1	1				2

2-3 2-1で①と回答したした場合 今年度の雇用や採用関連の動きについて(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒採用(正社員)を縮小・見送る		1				1
②中途採用(正社員)を縮小・見送る		1	2			3
③パート・アルバイト等(非正規社員)の採用を縮小・見送る		1	2			3
④派遣労働者の人頭数を縮小、労働者の派遣自体を見送る						0
⑤正社員の休業を実施					2	2
⑥パート・アルバイト等(非正規社員)の休業を実施		1	1			2
⑦派遣契約を維持した上で、派遣労働者の休業を実施						0
⑧従業員の人員整理(整理解雇、雇止め等)を検討・実施		1				1
⑨雇用調整助成金の申請を検討している	1	1				2
⑩雇用調整助成金を申請し、支給決定待ちの状況(審査・手続き中)					1	1
⑪雇用調整助成金を申請し、すでに支給された					1	1
⑫雇用調整助成金制度が分からない・手続きが煩雑であるため、申請は行わない						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスの影響による賃金動向に関する付帯調査では、多くの事業所が、賃金は同水準を維持、または賃上げを実施したと回答している。また賃上げの内容としては、定期昇給やベースアップの実施等の回答がみられた。

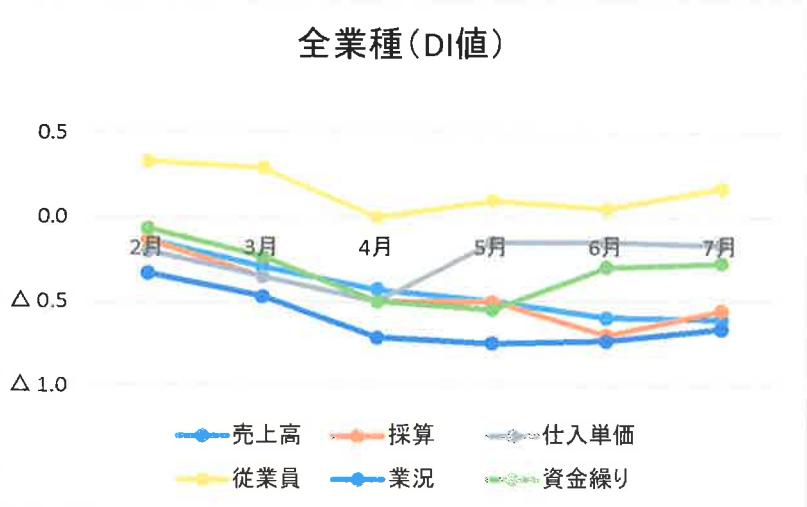
新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じているとの回答が6割、経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があるとの回答が4割であった。事業継続と感染防止拡大の両立にあたって実施している対応については、店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、消毒徹底との回答が最も多い。経営に影響が生じている場合の今年度の雇用に関する設問では、採用活動の縮小や見送り、従業員の休業実施、雇用調整助成金の申請実施・検討等の回答がみられた。

コメントには、新型コロナウイルスによる不安が消えない限り今後の見通しが立たない、以前の状態に戻るのは当分難しい、等の声が寄せられた。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年7月分)

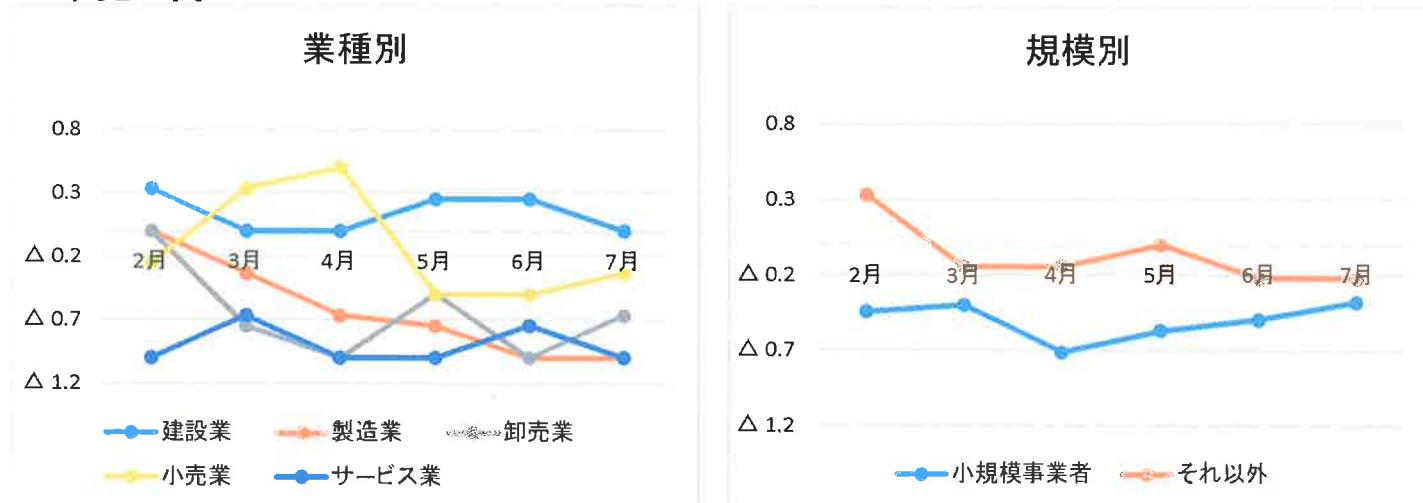
実施期間: 令和2.7.14~7.19 回答事業所: 18事業所

1. 全業種DI値



7月の全業種DI値を見ると、採算が△0.6、従業員が0.2でそれぞれ前月比+0.1ポイント上昇している。売上、仕入単価、業況、資金繰りは変化なしという結果であった。

2. 売上高



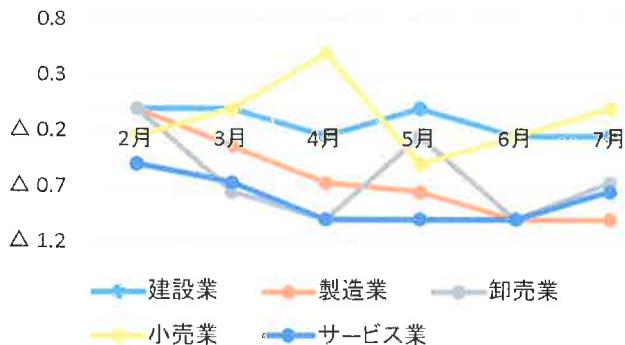
売上DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6
建設	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0
卸売	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.7
小売	△ 0.3	0.3	0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.4
それ以外	0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2

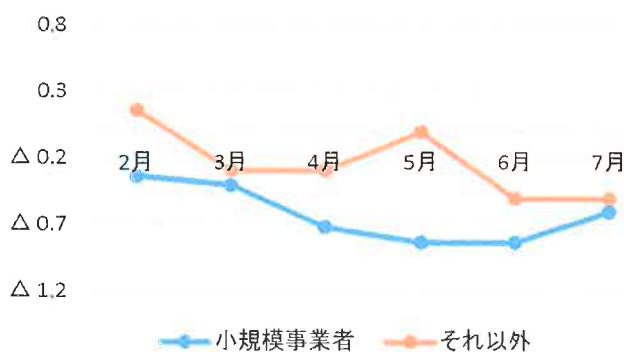
全産業の売上DIは△0.6で前月と比べ横ばい。業種別に見てみると、卸売業が前月比+0.3ポイント、小売業では+0.2ポイント上昇。一方で建設業では-0.3ポイント、サービス業では-0.2ポイント下落している。製造業においては横ばいという結果であった。
規模別に見ると、小規模事業者では前月比+0.1ポイント、それ以外の事業所では横ばいとなっている。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.6
建設	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0
卸売	0.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.7
小売	△ 0.3	0.0	0.5	△ 0.5	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
小規模	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6
それ以外	0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5

全産業の採算DIは△0.6で前月比+0.1ポイント上昇。
業種別にみると卸売業、小売業が前月比+0.3ポイント、サービス業が+0.2ポイント上昇している建設業、製造業では横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.2ポイント、それ以外では横ばいとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別

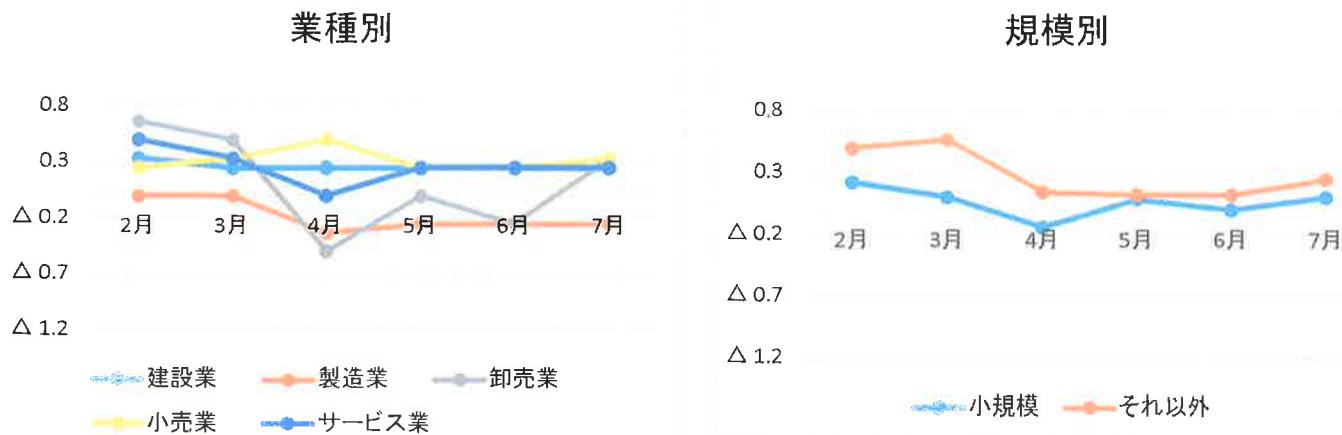


仕入単価DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2
建設	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
製造	0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.3	0.0
卸売	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.5	0.0
小売	△ 0.3	0.0	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7	0.0	△ 0.3	△ 0.3
小規模	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	0.1	△ 0.2	0.0
それ以外	0.0	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.4

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月と比べ横ばいであった。
業種別にみると、卸売業が前月比+0.5ポイント上昇している。一方で製造業、小売業が前月比-0.3ポイント下落となっている。建設業、サービス業では横ばいであった。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント上昇、それ以外は-0.3ポイントの下落であった。

5. 従業員



従業員DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.7	0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.3
小売	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3
サービス	0.5	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
小規模	0.2	0.1	△ 0.1	0.1	0.0	0.1
それ以外	0.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3

従業員の全産業DIは0.2で前月比+0.1ポイント上昇している。

業種別にみると、卸売業は前月比+0.6ポイント上昇、それ以外の業種については横ばいという結果であった。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント、それ以外では+0.2ポイント上昇している。

6. 業況



業況DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7
建設	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小売	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9
それ以外	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.4

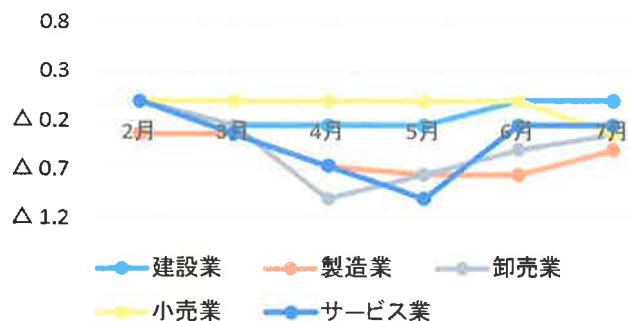
業況の全産業DIは△0.7で横ばいでいた。

業種別にみると、小売業が前月比+0.5ポイント上昇している。建設業、製造業、卸売業、サービス業においては横ばいであった。

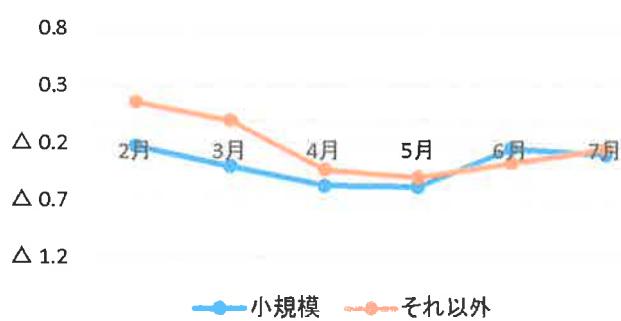
規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.1ポイント下落、それ以外では+0.2ポイント上昇となっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△0.1	△0.2	△0.5	△0.8	△0.3	△0.3
建設	0.0	△0.3	△0.3	△0.3	0.0	0.0
製造	△0.3	△0.3	△0.7	△0.8	△0.8	△0.5
卸売	0.0	△0.3	△1.0	△0.8	△0.5	△0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△0.3
サービス	0.0	△0.3	△0.7	△1.0	△0.3	△0.3
小規模	△0.2	△0.4	△0.6	△0.6	△0.3	△0.3
それ以外	0.2	0.0	△0.4	△0.5	△0.4	△0.3

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、横ばい。

業種別にみると、製造業では前月比+0.3ポイント、卸売業が+0.2ポイント上昇、小売業では-0.3ポイント下落している。建設業、サービス業は横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は横ばい、それ以外では+0.1ポイント上昇という結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	1	3	1	2	2	9
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	3	1	2	1	1	8
③影響はない						0
④分からない					1	1

1-2 2021年度の新卒採用活動について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①合同説明会が中止・延期になり、自社主催の会社説明会に切り替え				1		1
②合同説明会が中止・延期、Web上で自社主催の会社説明会に切り替え						0
③合同説明会が中止・延期、就職情報会社主催のWeb上の説明会で対応						0
④自社主催の説明会を予定していたが、Web上での説明会に切り替え実施		1				1
⑤選考スケジュールの後ろ倒しを実施						0
⑥影響はあるが、対応策は取れていない						0
⑦新卒採用に対する影響はない	2					2
⑧新卒採用自体を取りやめた		1			1	2
⑨そもそも新卒採用は行っていない	2	2	3	2	3	12
⑩その他						0

2.付帯調査【新型コロナウイルス拡大を契機とした働き方の見直しについて】

2-1 正社員の副業・兼業に関する状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①副業・兼業を積極的に推進している						0
②副業・兼業を容認している	1	1			2	4
③副業・兼業は認めていないが、現在検討している						0
④副業・兼業を認めていないが、将来的には検討したい				1	2	1
⑤副業・兼業を認めておらず、今後も検討する予定はない	2	2	1			5

2-2 他社の正社員を副業・兼業先として受け入れているかについて

	建	製	卸	小	サ	合計
①すでに受け入れている						0
②受け入れていないが、現在検討している					1	1
③受け入れていないが、将来的には検討したい	1	1			2	4
④受け入れておらず、今のところ検討する予定もない	2	2	2	2		8

2-3 2-1で③～⑤と回答した場合 副業・兼業を認めていない理由について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①社員の長時間労働・過重労働につながりかねないため	3	1		2		6
②社員の総労働時間の把握・管理が困難なため	3		1	2		6
③情報漏洩リスクが懸念されるため		2	1			3
④本業(自社の業務)との競合が懸念されるため		1	1	1		3
⑤人材の流出が懸念されるため	1	1	1	1		4
⑥組織の一体感、統制力の弱体化が懸念されるため		1	1			2
⑦副業・兼業先で労働災害が起きた際に本業への支障が生じる恐れがあるため	1		1			2
⑧副業・兼業先で労働災害が起きた際に十分な補償がなされないことへのリスク管理のため	1		1			2
⑨その他					1	1

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じている、経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があるとの回答が約半々であった。2021年度の新卒採用活動については、そもそも新卒採用は行っていない事業所が6割以上、他には、新卒採用に対する影響はない、新卒採用自体を取りやめた等の回答であった。

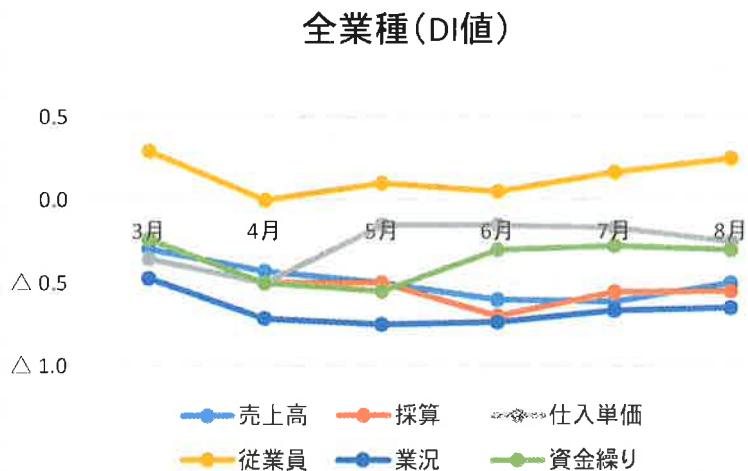
新型コロナウイルス拡大を契機とした働き方の見直しに関する付帯調査では、正社員の副業・兼業を認めていないとの回答が7割近くあり、その理由としては、社員の長時間労働・過重労働につながりかねない、総労働時間の把握・管理が困難なため、また人材の流出が懸念されるためとの回答が多くかった。他社の正社員を副業・兼業先として受け入れているかについては、受け入れておらず、今のところ検討する予定もないとの回答が最も多い結果となった。

コメントには、売り上げが回復していた中で、新型コロナウイルスが再び感染拡大となり今後の影響が不安である、また副業・兼業について、過去に無断で副業して従業員があり、就業中の怠慢がみられたため当社には不適である、という声が寄せられた。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年8月分)

実施期間:令和2.8.14～8.20 回答事業所: 20事業所

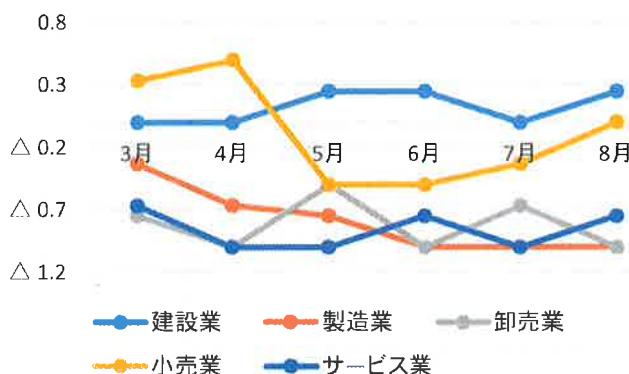
1. 全業種DI値



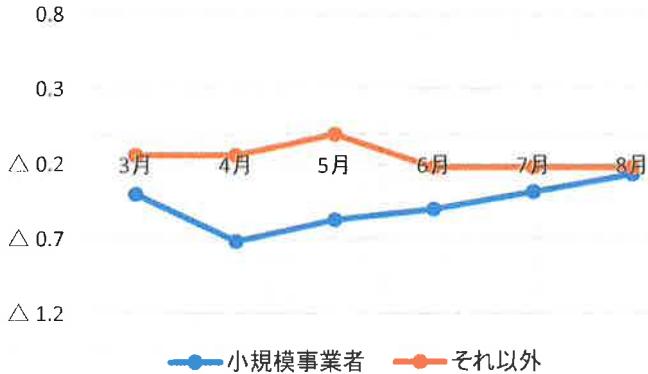
8月の全業種DI値を見ると、売上が△0.5、従業員が0.3でそれぞれ前月比+0.1ポイント上昇、仕入単価が△0.3で-0.1ポイント下落している。採算、業況、資金繰りは変化なしという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



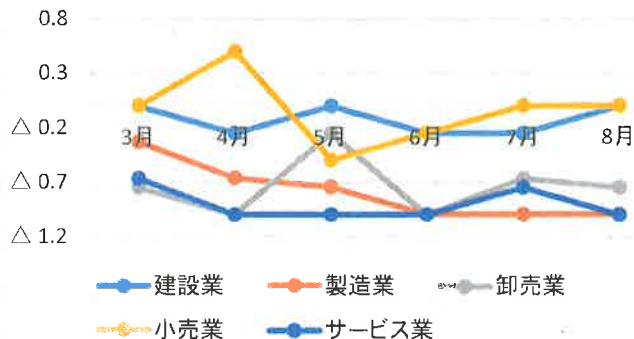
売上DIの推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5
建設	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3
製造	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0
小売	0.3	0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8
小規模	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3
それ以外	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2

全産業の売上DIは△0.5で前月比+0.1ポイント。業種別に見てみると、建設業・小売業が前月比+0.3ポイント、サービス業で+0.2ポイント上昇。一方で卸売業では前月比-0.3ポイント下落している。製造業においては横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比+0.1ポイント、それ以外の事業所では横ばいとなっている。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6
建設	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0
製造	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.8
小売	0.0	0.5	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7
それ以外	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6

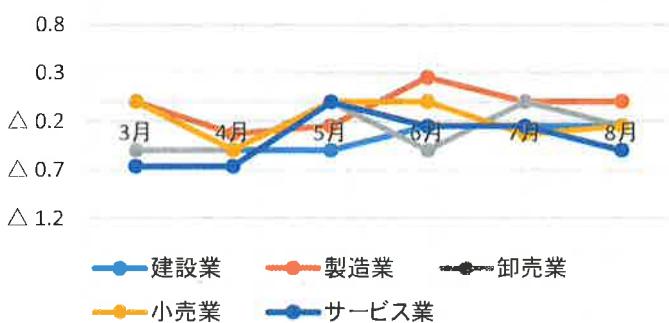
全産業の採算DIは△0.6で前月と比べ横ばいであった。

業種別にみると建設業で前月比+0.3ポイント上昇している。卸売業で前月比-0.1ポイント、サービス業が-0.2ポイント下落している。製造業・小売業では横ばいという結果。

規模別にみると、小規模事業者、それ以外とも前月比-0.1ポイントとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.3	0.0	0.0
卸売	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.5	0.0	△ 0.3
小売	0.0	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
サービス	△ 0.7	△ 0.7	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
小規模	△ 0.2	△ 0.3	0.1	△ 0.2	0.0	△ 0.2
それ以外	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4

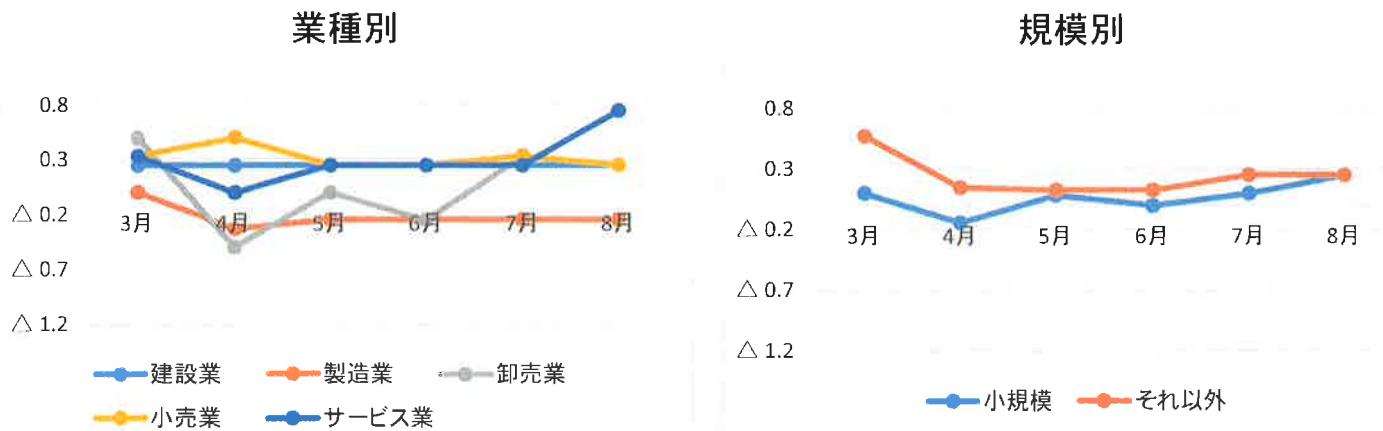
仕入単価の全産業DIは△0.1で前月比-0.1ポイントであった。

業種別にみると、卸売業が前月比-0.3ポイント、サービス業では-0.2ポイント下落となっている。

建設業、製造業、小売業では横ばいであった。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.2ポイント下落、それ以外は変化なしであった。

5. 従業員

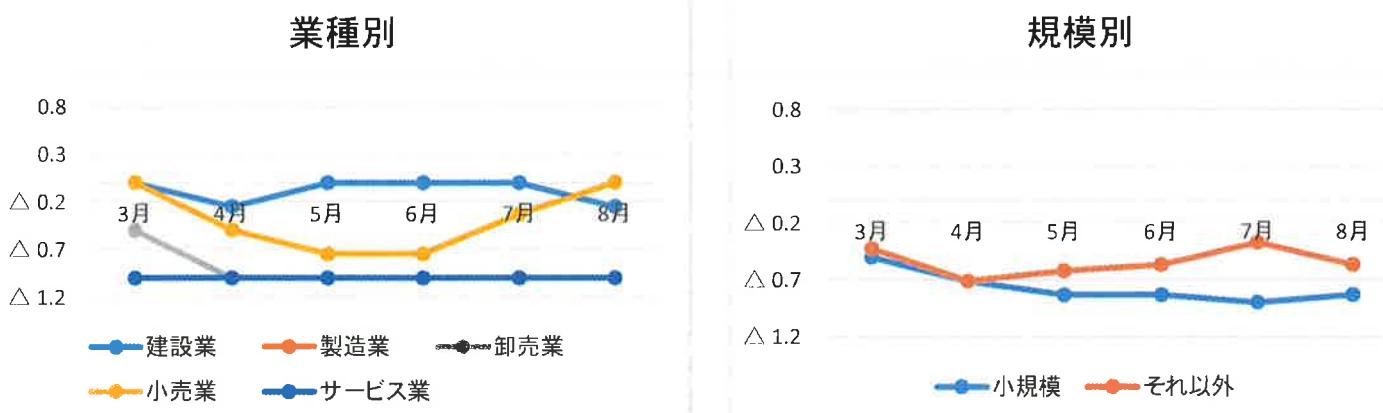


従業員DIの推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.5	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.3	0.3
小売	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
サービス	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.8
小規模	0.1	△ 0.1	0.1	0.0	0.1	0.3
それ以外	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3

従業員の全産業DIは0.3で前月比+0.1ポイント上昇している。
業種別にみると、サービス業は前月比+0.5ポイント上昇、それ以外の業種については横ばいという結果であった。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント、それ以外では横ばいとなっている。

6. 業況



業況DIの推移

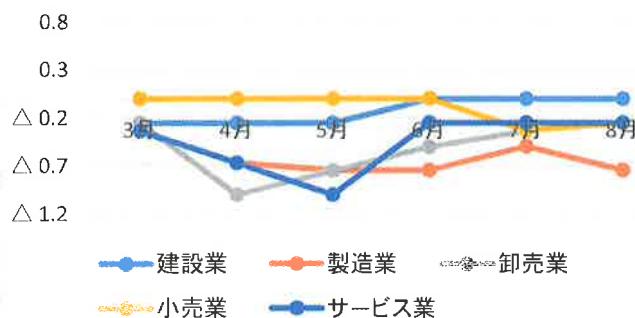
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7
建設	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	△ 0.3
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小売	0.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3	0.0
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8
それ以外	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.6

8月清

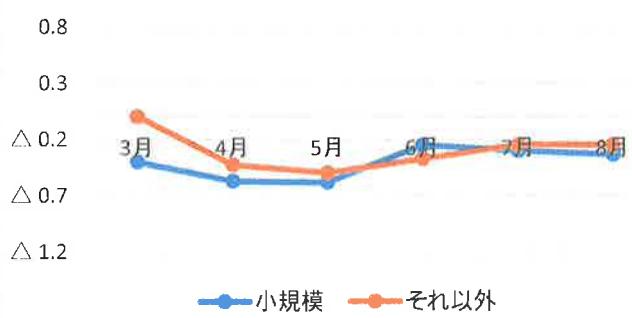
業況の全産業DIは△0.7で横ばいでいた。
業種別にみると、小売業が前月比+0.3ポイント上昇、建設業が-0.3ポイント下降している。製造業、卸売業、サービス業においては横ばいでいた。
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.1ポイント上昇、それ以外では-0.2ポイント下降となっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全産業	△0.2	△0.5	△0.8	△0.3	△0.3	△0.3
建設	△0.3	△0.3	△0.3	0.0	0.0	0.0
製造	△0.3	△0.7	△0.8	△0.8	△0.5	△0.8
卸売	△0.3	△1.0	△0.8	△0.5	△0.3	△0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	△0.3	△0.3
サービス	△0.3	△0.7	△1.0	△0.3	△0.3	△0.3
小規模	△0.4	△0.6	△0.6	△0.3	△0.3	△0.3
それ以外	0.0	△0.4	△0.5	△0.4	△0.3	△0.3

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、前月と比べ横ばい。
業種別にみると、製造業では前月比-0.3ポイント下落している。その他の業種においては横ばい。
規模別にみると、小規模事業者。それ以外とも横ばいという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	1	3	4	2	3	13
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	3	1		2	1	7
③影響はない						0
④分からない						0

2.付帯調査【新型コロナウイルス拡大を契機としたデジタル化の取り組みについて】

2-1 2019年度と比較した場合の貴社における2020年度のIT・デジタル投資の動向について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施予定(実施済み含む)			1	1	2	4
②2019年度と同水準で実施予定(実施済み含む)	2	2				4
③規模を縮小して実施予定(実施済み含む)						0
④実施しない・見送る(予定含む)			1	1		2
⑤現時点では未定	1		2	1	2	6

2-2 2-1で①～③と回答した場合 実施予定(実施済み含む)のIT・デジタル投資の目的について

	建	製	卸	小	サ	合計
①非接触での業務に向けた環境整備 (テレワーク用端末の購入、ペーパーレス化など)		1		1	1	3
②非接触での業務連絡・会議の実施 (WEB会議の導入など)		1		1		2
③非接触での営業活動の実施 (WEB会議システムを導入し、遠隔で商談を実施など)	1				1	2
④非接触での採用活動の実施 (WEB会議システムを導入して、面接を実施など)						0
⑤非接触での商品・サービスの販売 (ECサイト導入など)					1	1
⑥社内業務の効率化 (受発注、給与管理、経費、財務計、決裁等のシステム導入)	1		1			2
⑦従業員管理のシステム化 (出退勤管理、日報管理、グループウェア等のシステム導入)	1		1			2
⑧製造現場の省力化・効率化 (生産設備のIoT化、3Dプリンタの導入など)				1		1
⑨情報セキュリティの強化 (ウイルス対策ソフトの導入など)	1	1				2
⑩その他						0

3.付帯調査【電力料金上昇が経営に与える影響について】

3-1 電力料金の上昇が貴社の足元の経営へ悪影響を与えていたか

	建	製	卸	小	サ	合計
①悪影響がある		1	1		4	6
②現時点では悪影響はないが、電力料金が高い状態が続ければ悪影響が懸念される	2		1	2		5
③悪影響はない(今後もない見込み)	2	2	1	1		6

3-2 3-1で①又は②と回答した場合 貴社がとる対応について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①既存設備での節電の実施など人件費以外のコスト削減		1	1	1	2	5
②料金の安い電力の変更	1		1	2	2	6
③人件費の削減(時間外労働の削減や長時間労働の抑制等)			1	1		2
④販売価格への転嫁		1			2	3
⑤比較的安価な設備(LED照明等)を省エネ性の高い設備に更新・導入				2	2	4
⑥比較的高価な設備(製造・発電設備等)を省エネ性の高い設備に更新・導入					2	2
⑦設備投資や研究開発の延期		1				1
⑧操業・営業時間の短縮						0
⑨対策を講じることは困難						0
⑩その他						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、すべての事業所が影響が生じている、経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があると回答している。新型コロナウイルス拡大を契機としたデジタル化の取り組みに関する付帯調査では、2019年度と比較した場合の2020年度のIT・デジタル投資の動向について、現時点では未定という回答が最も多い。次いで、規模拡大して実施(予定)、2019年度と同水準で実施(予定)という回答が多いという結果であった。

電力料金上昇が経営に与える影響に関する付帯調査では、悪影響がある、現時点では悪影響はないが、電力料金が高い状態が続けば悪影響が懸念される、という回答が約0割ずつとなっている。悪影響がある、今後悪影響が懸念される回答した場合、事業所がとる対応については、料金の安い電力の変更、既存設備での節電の実施など人件費以外のコスト削減等の回答が多い結果となった。

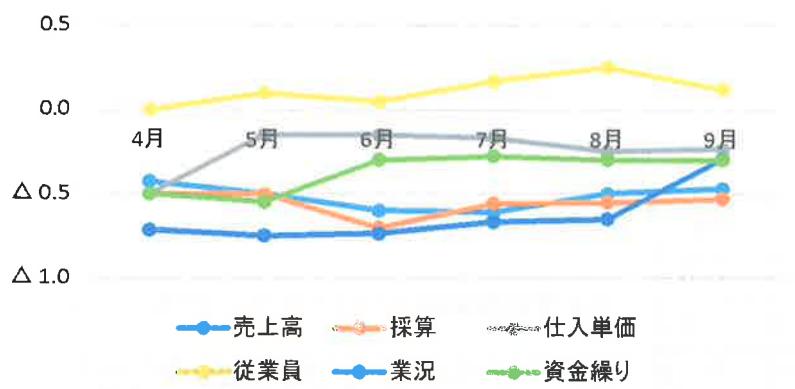
業況感のコメントには、(建設業)本年度までは公共工事の復興予算がついているが、今後は大幅な落ち込みが懸念されるという声が寄せられた。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年9月分)

実施期間: 令和2.9.11～9.17 回答事業所: 17事業所

1. 全業種DI値

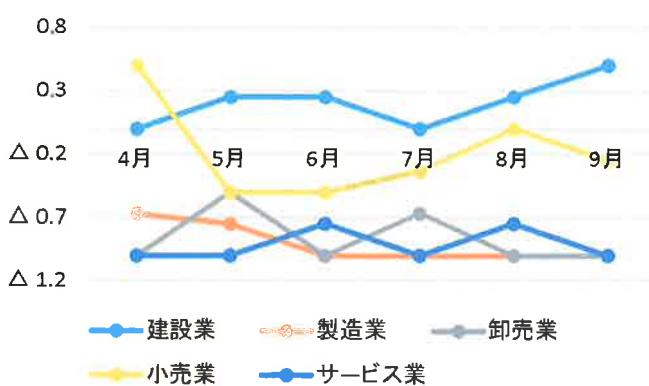
全業種(DI値)



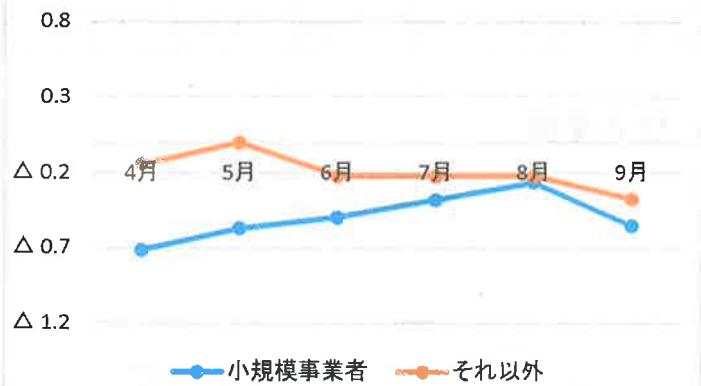
9月の全業種DI値を見ると、業況が△0.5で前月比+0.2ポイント、採算が△0.5、仕入単価が△0.2で+0.1ポイント上昇、従業員が0.1で前月比-0.1下落している。売上が△0.5、資金繰りが△0.3で変化なしという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



売上DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△0.4	△0.5	△0.6	△0.6	△0.5	△0.5
建設	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.5
製造	△0.7	△0.8	△1.0	△1.0	△1.0	△1.0
卸売	△1.0	△0.5	△1.0	△0.7	△1.0	△1.0
小売	0.5	△0.5	△0.5	△0.3	0.0	△0.3
サービス	△1.0	△1.0	△0.8	△1.0	△0.8	△1.0
小規模	△0.7	△0.6	△0.5	△0.4	△0.3	△0.6
それ以外	△0.1	0.0	△0.2	△0.2	△0.2	△0.4

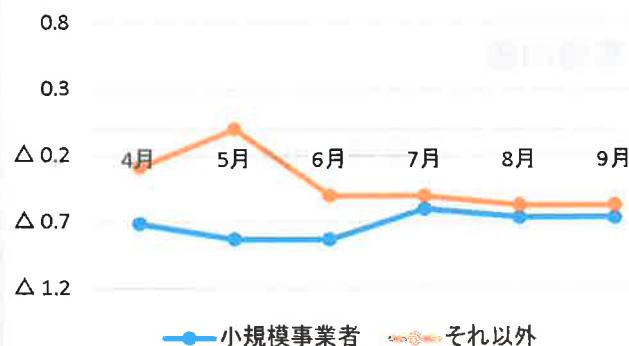
全産業の売上DIは△0.5で前月と変化なし。業種別に見てみると、建設業が前月比+0.2ポイント上昇。一方で小売業では前月比-0.3ポイント、サービス業では-0.2ポイント下落している。製造業・卸売業においては横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比-0.3ポイント、それ以外の事業所では-0.2ポイントの下落となっている。

3. 採算

業種別



規模別



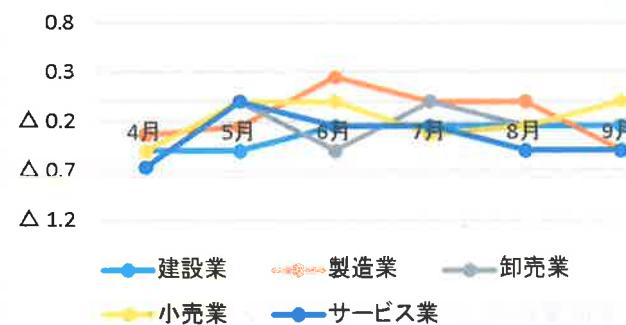
採算DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5
建設	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7
小売	0.5	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.7
それ以外	△ 0.3	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6

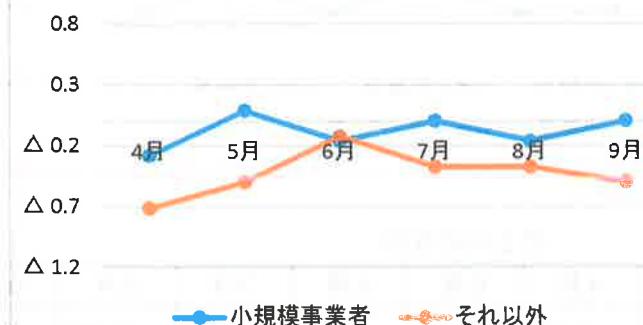
全産業の採算DIは△0.5で前月比+0.1ポイント上昇。
業種別にみると卸売業で前月比+0.1ポイント上昇している。一方で小売業で前月比-0.3下落、建設業、製造業、サービス業では横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者、それ以外とも横ばいとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別

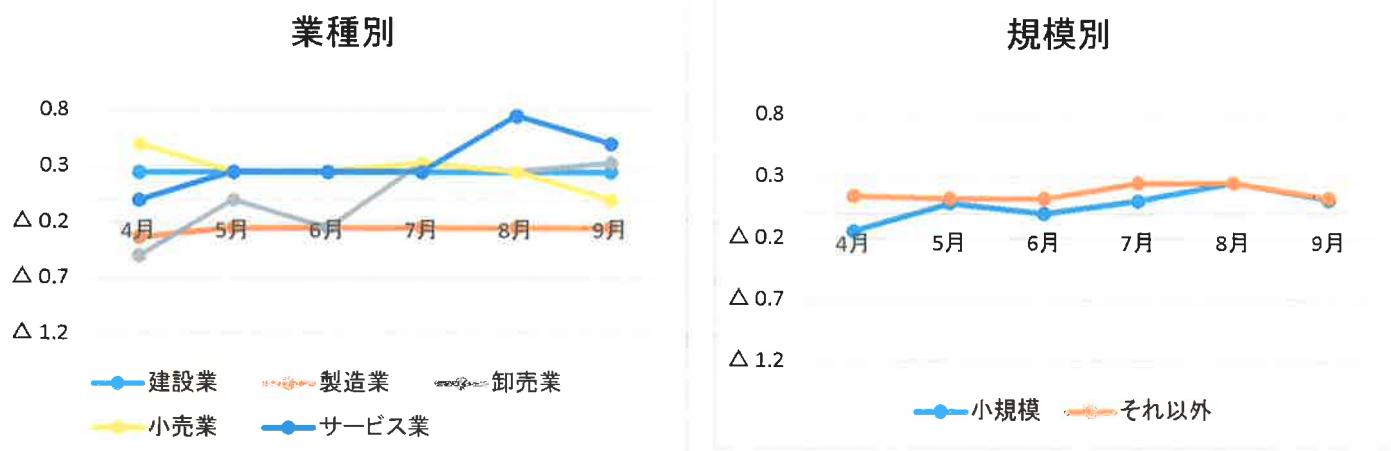


仕入単価DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
製造	△ 0.3	△ 0.3	0.3	0.0	0.0	△ 0.5
卸売	△ 0.5	0.0	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0
小売	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.7	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
小規模	△ 0.3	0.1	△ 0.2	0.0	△ 0.2	0.0
それ以外	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月比+0.1ポイントであった。
業種別にみると、卸売業・小売業が前月比+0.3ポイント上昇、製造業では-0.5ポイント下落となっている。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント上昇、それ以外は-0.1ポイントの下落であった。

5. 従業員



従業員DIの推移

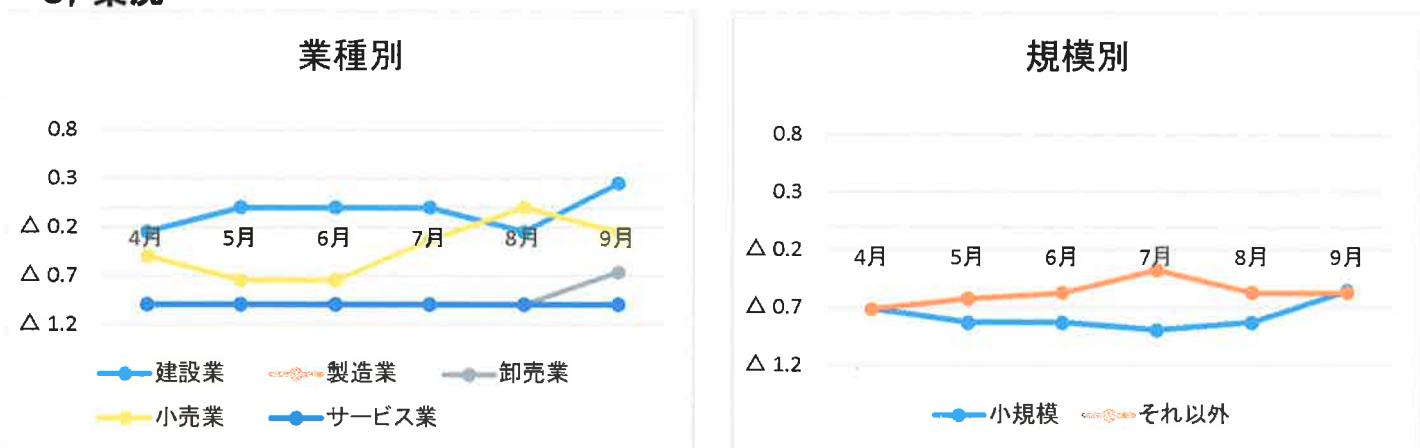
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.3	0.3	0.3
小売	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
サービス	0.0	0.3	0.3	0.3	0.8	0.5
小規模	△ 0.1	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1
それ以外	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1

従業員の全産業DIは0.1で前月比-0.2ポイント下降している。

業種別にみると、小売業・サービス業で前月比-0.3ポイント下落、それ以外の業種については横ばいという結果であった。

規模別にみると、小規模事業者・それ以外とも前月比-0.2ポイントとなっている。

6. 業況



業況DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.3
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7
小売	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3	0.0	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.6
それ以外	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.6

業況の全産業DIは△0.5と、前月比+0.2ポイント上昇している。

業種別にみると、建設業で前月比+0.6ポイント、卸売業で+0.3ポイント上昇、一方で小売業が前月比-0.3ポイント下落している。製造業、サービス業においては横ばいであった。

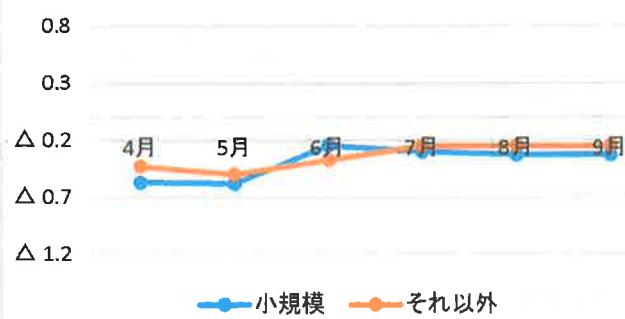
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.2ポイント上昇、それ以外では横ばいとなっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△0.5	△0.8	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3
建設	△0.3	△0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△0.7	△0.8	△0.8	△0.5	△0.8	△0.5
卸売	△1.0	△0.8	△0.5	△0.3	△0.3	△0.3
小売	0.0	0.0	0.0	△0.3	△0.3	△0.3
サービス	△0.7	△1.0	△0.3	△0.3	△0.3	△0.5
小規模	△0.6	△0.6	△0.3	△0.3	△0.3	△0.3
それ以外	△0.4	△0.5	△0.4	△0.3	△0.3	△0.3

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、前月と比べ横ばい。

業種別にみると、製造業では前月比+0.3ポイント上昇、一方でサービス業で-0.2ポイント下落している。その他の業種においては横ばい。

規模別にみると、小規模事業者。それ以外とも横ばいという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている		2	2	2	2	8
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	3	1	1	2		7
③影響はない						0
④分からない		1				1

1-2 1-1で①と回答した場合 今年度の雇用や採用関連の動きについて(複数回答可)

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒採用(正社員)を縮小・見送る		1		1		2
②中途採用(正社員)を縮小・見送る		1		1		2
③パート・アルバイト等の採用を縮小・見送る		1				1
④派遣労働者の人数を縮小、労働者の派遣自体を見送る						0
⑤正社員の休業を実施						0
⑥パート・アルバイト等の休業を実施		1				1
⑦派遣契約を維持した上で、派遣労働者の休業を実施						0
⑧従業員の人員整理(整理解雇、雇止め等)を検討・実施		1				1
⑨雇用調整助成金の申請を検討している						0
⑩雇用調整助成金を申請し、支給決定待ちの状況						0
⑪雇用調整助成金を申請し、すでに支給された					2	2
⑫雇用調整助成金制度が分からず手続きが煩雑であるため、申請は行わない						0

2.付帯調査【感染対策という意味で注目が高まっているBCP(事業継続計画)について】

2-1 事業継続計画(BCP)の策定状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①事業継続計画を策定済みである	1					1
②事業継続計画を策定中・見直し中である				2		2
③事業継続計画は必要と思うが、策定していない	2	3	1	2	2	10
④事業継続計画はそもそも必要ない			1			1

2-2 2-1で①～②と回答した場合 その内容について

	建	製	卸	小	サ	合計
①感染症以外(自然災害等)を想定して事業継続計画(BCP)	1					1
②感染症を想定した事業継続計画(BCP)	1			2		3

2-3 2-1で③～④と回答した場合 策定していない理由について

	建	製	卸	小	サ	合計
①策定したいが、必要なノウハウ・スキルがないため	2	2		1		5
②策定したいが、コストがかかるため						0
③策定したいが、人的余裕がないため	1	1			1	3
④家族経営などで企業規模が小さく、柔軟に対応できるため		1	2	1	1	5
⑤顧客・取引先・関連会社等から策定を要請されていないため			1	2		3
⑥策定することが国や地方公共団体の入札の加点要素となっていないため			1	1		2
⑦損害保険(火災、地震等)に加入しているため			1	1		2
⑧法令で特に義務付けられていないため			2			2
⑨その他						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じている、経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があるという回答が約半々であった。経営に影響が生じている場合の今年度の雇用や採用については、新卒・中途採用の縮小や見送り、また雇用調整助成金の申請・支給を受けたという回答がみられた。

事業継続計画(BCP)の策定状況に関する付帯調査では、必要だと思うが策定していないという回答が多い。理由としては、必要なノウハウ・スキルがない、企業規模が小さく柔軟な対応ができるためという回答がみられた。BCPを策定済みまたは策定中・見直し中と回答した事業所に関し、その内容については、感染症を想定したBCPと回答した事業所が4社中3社であった。

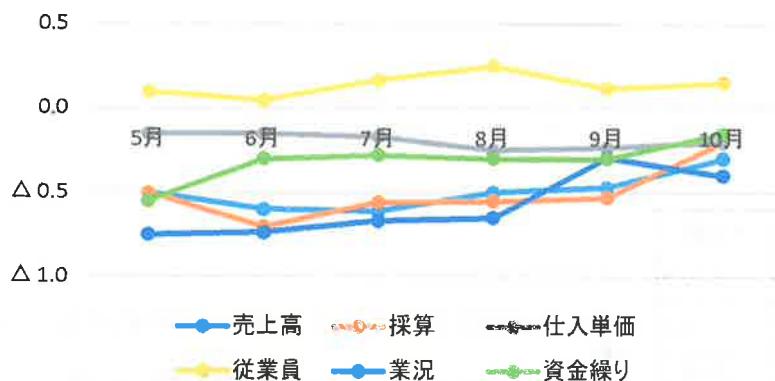
白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年10月分)

実施期間: 令和2.10.15～10.21 回答事業所: 20事業所

※調査対象事業所の入れ替えあり(20社中7社)

1. 全業種DI値

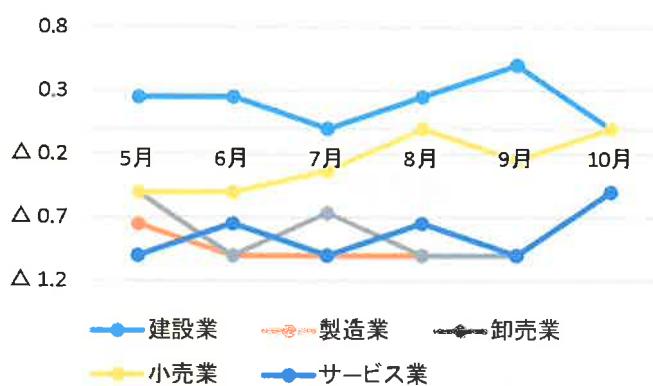
全業種(DI値)



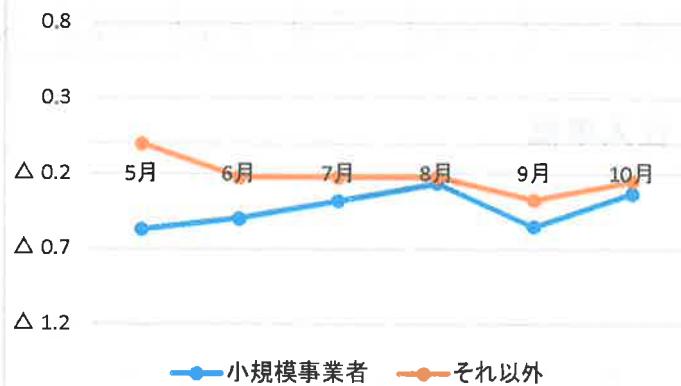
10月の全業種DI値を見ると、売上が△0.3で前月比+0.2ポイント、採算が△0.2で+0.3ポイント、従業員が0.2、業況が△0.4、資金繰りが△0.2でそれぞれ前月比+0.1ポイント上昇している。仕入単価においては横ばいという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



売上DIの推移

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
建設	0.3	0.3	0.0	0.3	0.5	0.0
製造	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
小売	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5
小規模	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.3
それ以外	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.3

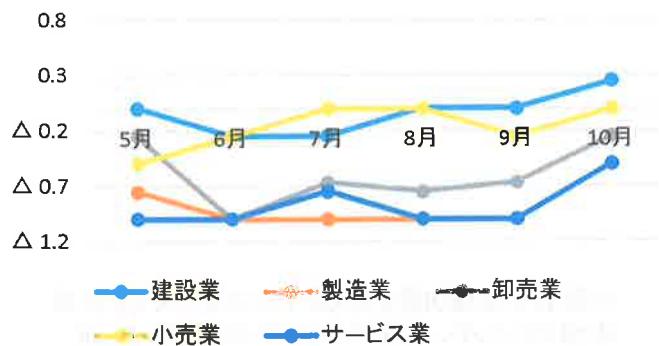
全産業の売上DIは△0.3で前月比+0.2ポイント上昇。

業種別に見てみると、製造業・卸売業・サービス業で前月比+0.5ポイント、小売業で+0.3ポイント上昇している。一方で建設業において前月比-0.5ポイント下降している。

規模別に見ると、小規模事業者では前月比+0.3ポイント、それ以外の事業所では+0.1ポイントの上昇となっている。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.3
製造	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.3
小売	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3	0.0
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
小規模	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.2
それ以外	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.3

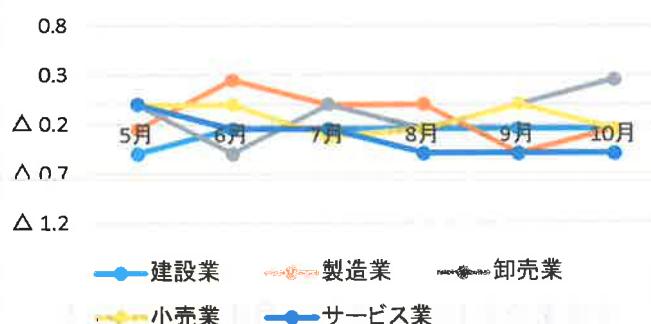
全産業の採算DIは△0.2で前月比+0.3ポイント上昇。

業種別にみると建設業・小売業で前月比+0.3ポイント、製造業・サービス業で+0.5ポイント、卸売業が+0.4ポイント上昇している。

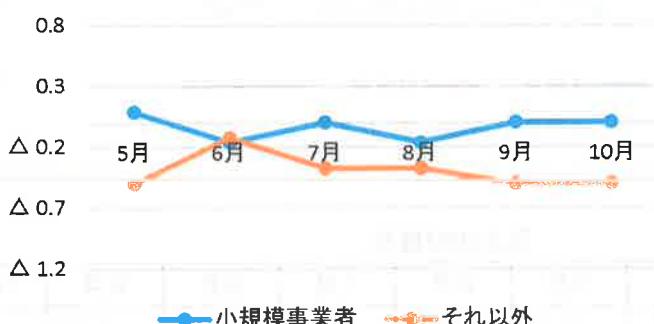
規模別にみると、小規模事業者が前月比+0.5ポイント、それ以外では+0.3ポイント上昇している。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

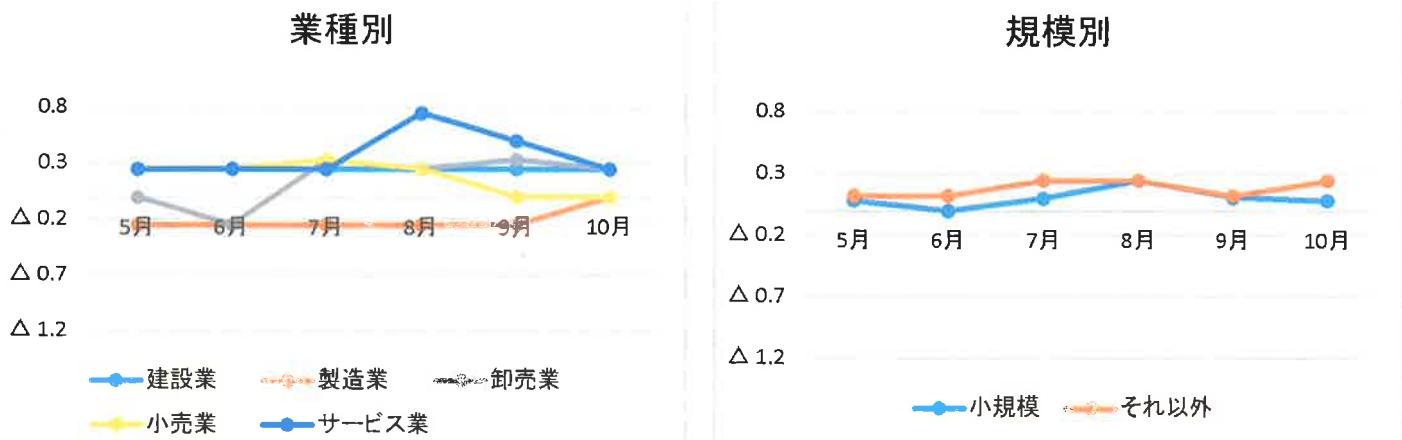
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2
建設	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
製造	△ 0.3	0.3	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.3
卸売	0.0	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0	0.3
小売	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3
サービス	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
小規模	0.1	△ 0.2	0.0	△ 0.2	0.0	0.0
それ以外	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月比横ばいであつた。

業種別にみると、製造業が前月比+0.2ポイント、卸売業が+0.3ポイント上昇、一方小売業では-0.3ポイント下落となつてゐる。建設業・サービス業では横ばいであつた。

規模別にみると、小規模事業者、それ以外とも横ばいであつた。

5. 従業員



従業員DIの推移

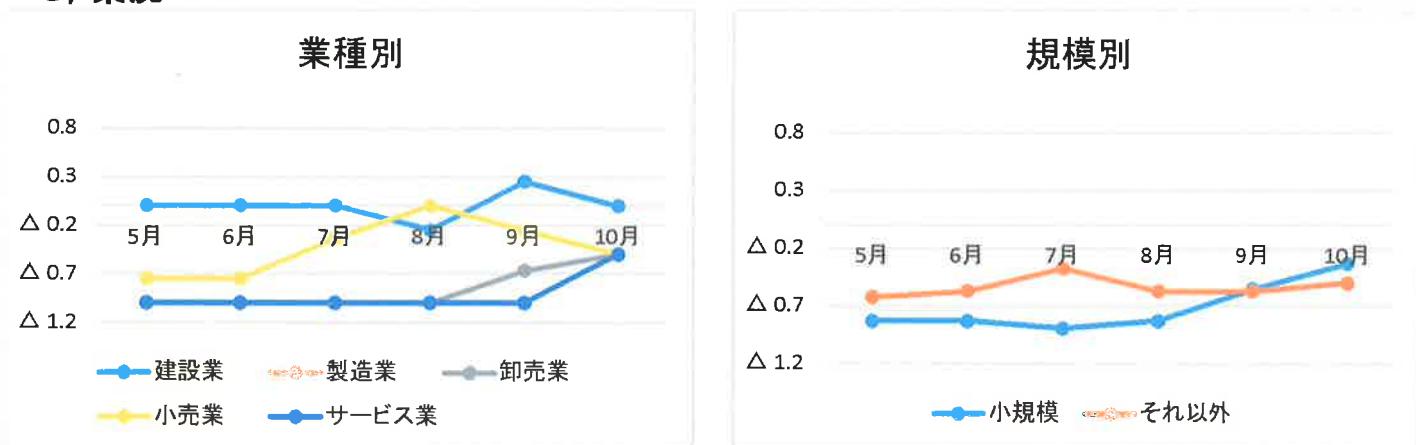
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0
卸売	0.0	△ 0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
小売	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
サービス	0.3	0.3	0.3	0.8	0.5	0.3
小規模	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1
それ以外	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	0.3

従業員の全産業DIは0.2で前月比+0.1ポイント上昇している。

業種別にみると、製造業では前月比+0.3ポイント上昇、サービス業が-0.2ポイントの下落となっている。それ以外の業種については横ばいという結果であった。

規模別にみると、小規模事業者が横ばい、それ以外が前月比+0.2ポイント上昇している。

6. 業況



業況DIの推移

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.4
建設	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	0.3	0.0
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.5
小売	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.5
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
小規模	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.3
それ以外	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5

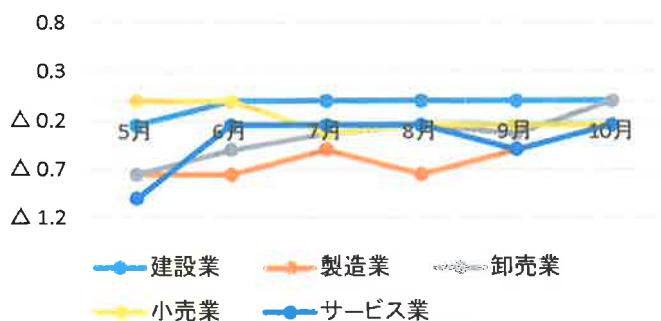
業況の全産業DIは△0.4と、前月比+0.1ポイント上昇している。

業種別にみると、製造業・サービス業で前月比+0.5ポイント、卸売業が+0.2ポイント上昇、一方で建設業が前月比-0.3ポイント、小売業が-0.2ポイント下落している。

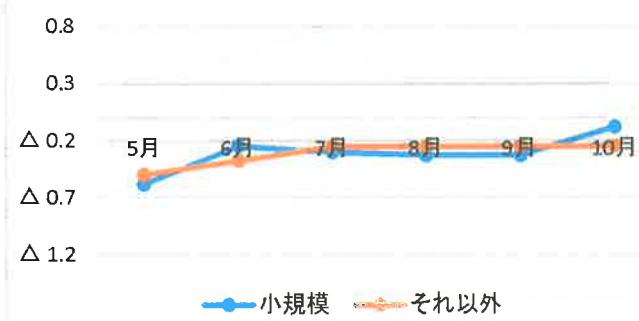
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.3ポイント、それ以外では+0.1ポイント上昇している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全産業	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3
卸売	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0
小売	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3
小規模	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、前月と比べ横ばい。

業種別にみると、製造業では前月比+0.3ポイント上昇、一方でサービス業で-0.2ポイント下落している。その他の業種においては横ばい。

規模別にみると、小規模事業者が前月比+0.2ポイント上昇、それ以外では横ばいという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	2	2	2	3	3	12
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	3		2	1		6
③影響はない		1				1
④分からない					1	1

2.付帯調査【同一労働同一賃金について】

2-1 「同一労働同一賃金」について対象となりそうな非正規社員の有無について

	建	製	卸	小	サ	合計
①対象になりそうな社員がいる					1	1
②自社の非正規社員が対象になるかどうか分からず			1			1
③正社員と非正規社員の間に不合理な待遇差はない	2	2	2	2		8
④非正規社員を雇用していない	3	1	1	1	2	8

2-2 2-1で①と回答した場合 「同一労働同一賃金」の対応状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①既に必要な対応は終えた		1				1
②現在、具体的な対応に取り組んでいる最中である						0
③具体的な対応が決まり、今後取り組む予定						0
④具体的な対応に関する検討をしている最中					1	1
⑤対応が必要だが、何をすべきか分からず						0

3.付帯調査【設備投資について】

3-1 2019年度と比較した場合の2020年度の設備投資(国内・海外問わず)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施予定(実施済み含む)					2	2
②2019年度と同水準で実施予定(実施済み含む)	2			2	1	5
③規模を縮小して実施予定(実施済み含む)			2			2
④実施しない・見送る(予定含む)	2	2	2	2	1	9
⑤現時点では未定	1					1

3-2 3-1で①～③と回答した場合 国内の設備投資につき、設備投資を行う目的について

	建	製	卸	小	サ	合計
①能力増強			1			1
②省力化・合理化	1		2		1	4
③製品・サービスの品質向上			1	1	2	4
④新製品生産						0
⑤新分野への進出					1	1
⑥省エネルギー対策			1			1
⑦研究開発			1			1
⑧新型コロナウイルス感染防止対策			2		2	4
⑨既存設備の維持・定期更新(設備性能の向上を伴わない)	2			2	1	5
⑩その他						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、6割の事業所が影響が生じているとし、3割が経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があると回答している。

同一労働・同一賃金に関する付帯調査では、対象となりそうな非正規社員の有無については8割の事業所が不合理な待遇差はない、または非正規社員を雇用していないという結果であった。対象の非正規職員がいる事業所については、既に必要な対応は終えた、また検討をしている最中と回答している。

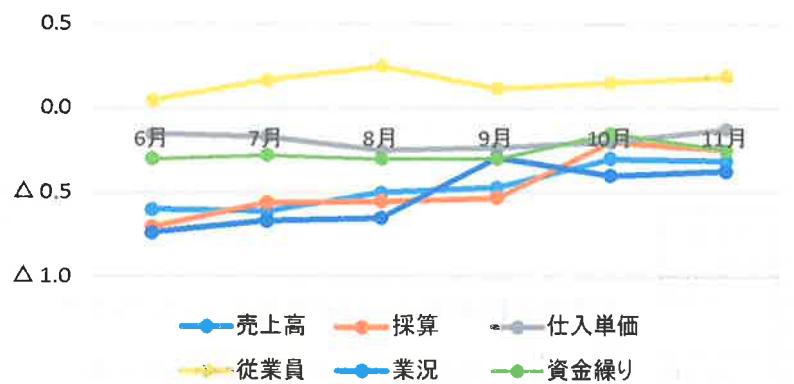
設備投資に関する付帯調査では、昨年度と比べ規模拡大・同水準・縮小して実施(予定含む)と、実施しない・見送る(予定含む)という回答が約半々であった。実施した設備投資の内容としては、既存設備の維持・定期更新、省電力・合理化、製品・サービスの品質向上、また新型コロナ感染防止対策、という回答が多くみられた。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年11月分)

実施期間: 令和2.11.10~11.17 回答事業所: 16事業所

1. 全業種DI値

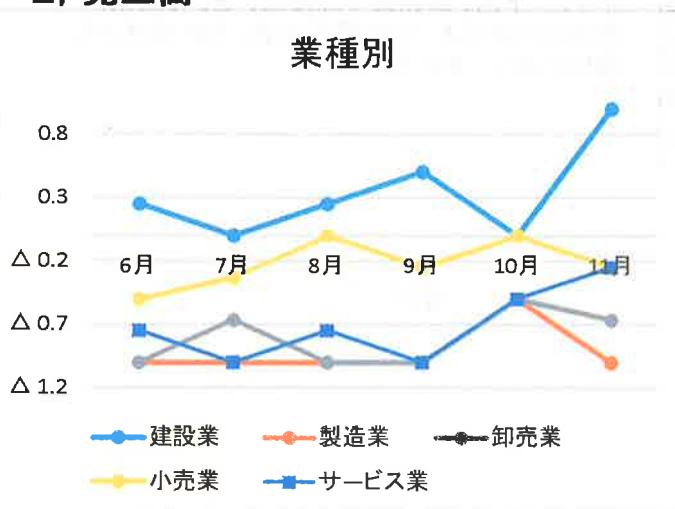
全業種(DI値)



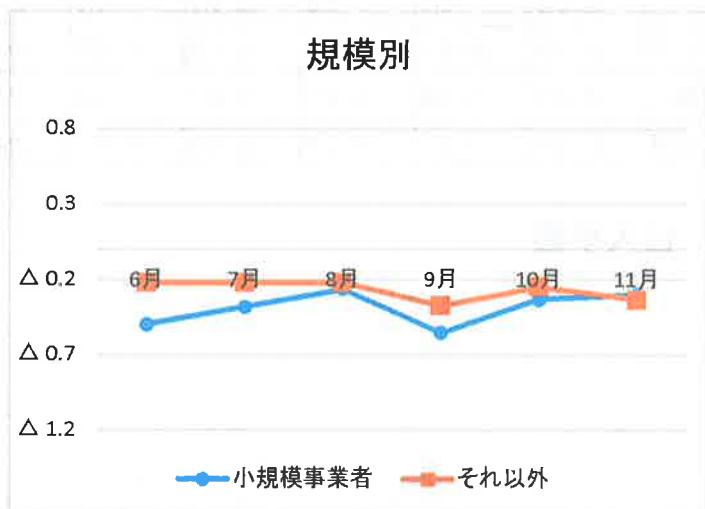
11月の全業種DI値を見ると、仕入単価が△0.1で前月比+0.1ポイント上昇、採算・資金繰りが△0.3で-0.1ポイント下落している。売上が△0.3、従業員0.2、業況△0.4で変化なしという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



売上DIの推移

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	△0.6	△0.6	△0.5	△0.5	△0.3	△0.3
建設	0.3	0.0	0.3	0.5	0.0	1.0
製造	△1.0	△1.0	△1.0	△1.0	△0.5	△1.0
卸売	△1.0	△0.7	△1.0	△1.0	△0.5	△0.7
小売	△0.5	△0.3	0.0	△0.3	0.0	△0.3
サービス	△0.8	△1.0	△0.8	△1.0	△0.5	△0.3
小規模	△0.5	△0.4	△0.3	△0.6	△0.3	△0.3
それ以外	△0.2	△0.2	△0.2	△0.4	△0.3	△0.3

全産業の売上DIは△0.3で前月と変化なし。業種別に見てみると、建設業が前月比+1.0ポイント、サービス業で+0.2ポイント上昇。一方で製造業では前月比-0.5ポイント、卸売業では-0.2ポイント、小売業では-0.3ポイント下落している。規模別に見ると、小規模事業者、それ以外の事業所とも横ばいとなっている。

3. 採算

業種別



規模別



採算DIの推移

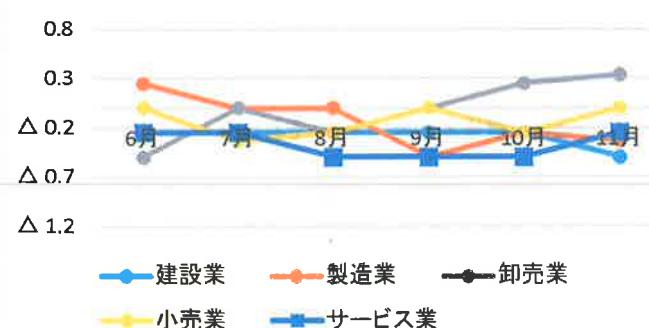
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.3
建設	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.3	1.0
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3
小売	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3
小規模	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.2	△ 0.2
それ以外	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3

全産業の採算DIは△0.3で前月比-0.1ポイント下落。

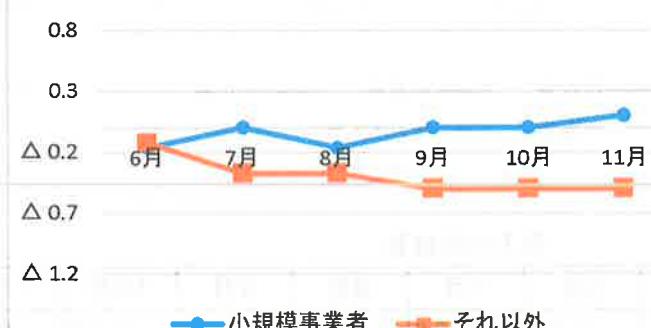
業種別にみると、建設業が前月比+0.7ポイント、サービス業が0.2ポイント上昇している。一方で製造業では前月比-0.5ポイント、小売業では-0.2ポイント下落、卸売業では横ばいという結果。規模別にみると、小規模事業者、それ以外とも横ばいとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



仕入単価DIの推移

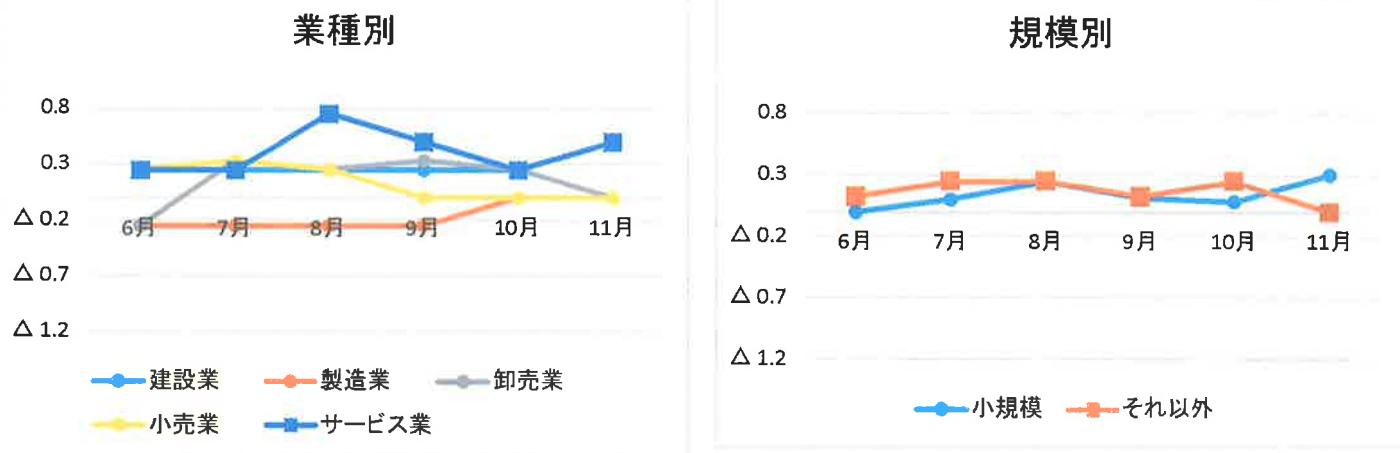
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
建設	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
製造	0.3	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.5	0.0	△ 0.3	0.0	0.3	0.3
小売	0.0	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
小規模	△ 0.2	0.0	△ 0.2	0.0	0.0	0.1
それ以外	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5

仕入単価の全産業DIは△0.1で前月比+0.1ポイントであった。

業種別にみると、小売業が前月比+0.3ポイント、サービス業が+0.2ポイント上昇、建設業では-0.2ポイント下落となっている。製造業、卸売業については横ばい。

規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント上昇、それ以外は横ばい。

5. 従業員



従業員DIの推移

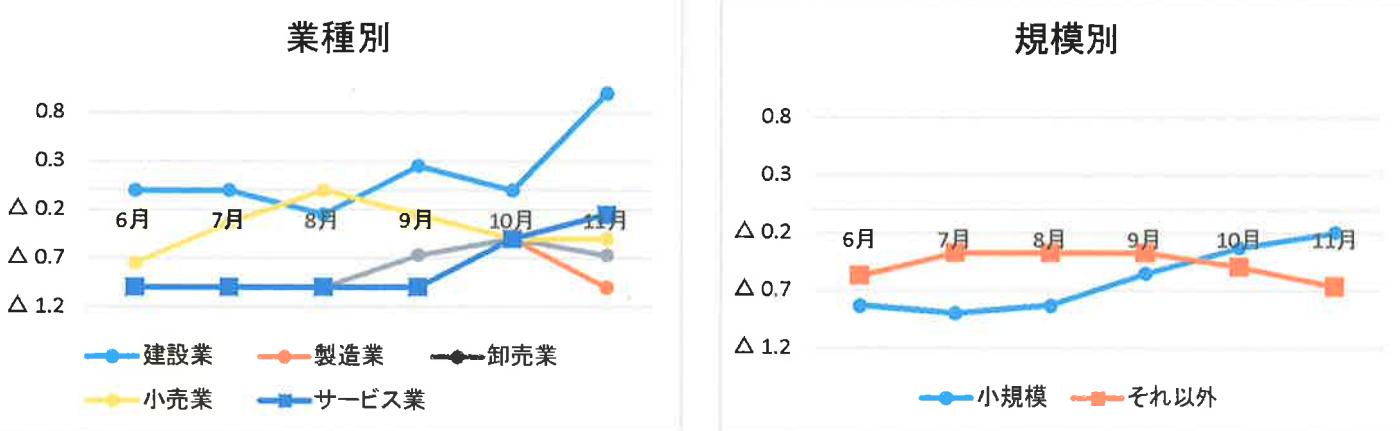
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
卸売	△ 0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
小売	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
サービス	0.3	0.3	0.8	0.5	0.3	0.5
小規模	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3
それ以外	0.1	0.3	0.3	0.1	0.3	0.0

従業員の全産業DIは0.2で横ばいに推移している。

業種別にみると、建設業・サービス業が前月比+0.2ポイント上昇、卸売業では前月比-0.3ポイント・サービス業で前月比-0.3ポイント下落、製造業、小売業については横ばいという結果であった。

規模別にみると、小規模事業者が前月比+0.2ポイント、それ以外では前月比-0.3ポイントとなっている。

6. 業況



業況DIの推移

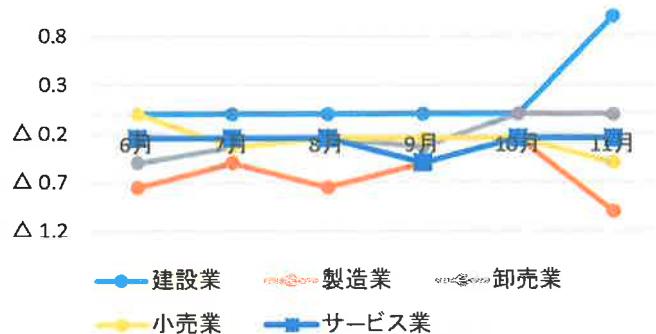
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4
建設	0.0	0.0	△ 0.3	0.3	0.0	1.0
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.7
小売	△ 0.8	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3
小規模	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2
それ以外	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.7

業況の全産業DIは△0.4となっており、前月比横ばい。

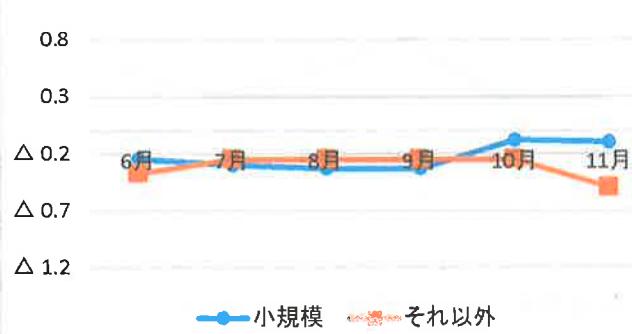
業種別にみると、建設業が前月比+1.0ポイント、サービス業が+0.2ポイント上昇、一方で製造業が前月比-0.5ポイント、卸売業が-0.2ポイント下落している。小売業においては横ばいであった。規模別にみると、小規模事業者で前月比+0.1ポイント、それ以外では+0.2ポイント上昇している。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
製造	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
小売	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
サービス	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
小規模	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、前月比-0.1ポイントの下落。業種別にみると、建設が前月比+1.0ポイント上昇、一方で製造業では前月比-0.7ポイント、小売業では-0.2ポイント下落している。その他の業種においては横ばい。規模別にみると、小規模事業者は横ばい、それ以外では前月比-0.2ポイント下落という結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている		3	2	3	2	10
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	1		1	1	2	5
③影響はない	1					1
④分からない						0

2.付帯調査【デジタル化の推進により改善を期待する点について】

2-1 オンライン行政手続きについて(複数回答可)

	建	製	卸	小	サ	合計
①窓口が原則となっている手続の見直し	1	3	1	1	3	9
②時間短縮(申請後から完了まで)		2	3	2		7
③申請書類・添付書類の削減(一度提出した情報は再提出不要、書類作成・収集の手間の削減)	1	2	3	3	1	10
④ワンストップ化(複数の行政機関・部門から類似の書類を要求されない)	1	1	1	3	2	8
⑤システムの利便性向上(利用申請やIDの統合・簡素化、手数料支払の簡素化等)	1	2	2	1	2	8
⑥国・地方公共団体の手続の標準化(国による統一の書式・様式の作成と普及促進)	1	1	2		2	6
⑦行政手続の手数料・更新料の減額		3	3		3	9
⑧オンライン活用に必要な端末や回線などハード面の環境整備支援(補助金等)	1	1	2	1	4	9
⑨相談体制の強化や専門人材の派遣などソフト面の環境整備支援		1	1	1		3
⑩その他				2		2

3.付帯調査【価格転嫁の動向について】

3-1 商品・製品・サービスの販売先(BtoB、BtoC)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①企業向け(B to B)	1	1	1	1		4
②消費者向け(B to C)			1		2	2
③企業向け、消費者向けの両方(B to B、B to C)				2	1	3
④回答不能	1	1				2

3-2 コスト増加分の価格転嫁の動向について

	建	製	卸	小	サ	合計
①全て価格転嫁できている						0
②半分以上は価格転嫁できている		1	1	2		4
③価格転嫁できたのは半分に満たない	2	1			1	4
④全く転嫁できていない			2	1	2	5
⑤コスト増加していないため、転嫁する必要がない						0
⑥回答不能		1		1	1	3

3-3 3-2で②～④と回答した場合 価格転嫁できない要因について

	建	製	卸	小	サ	合計
①需要が減少しているため	1	1		1	1	4
②消費者の節約志向・低価格志向が続いているため	1		2	2	1	6
③取引先から値下げ要求されたため		1	2			3
④予め販売価格を固定した長期契約により、足元の価格変動を反映できないため		1	1			2
⑤競合他社が販売価格を上げていないため	1	1	1			3
⑥既に販売価格を上げており、これ以上の転嫁が困難なため				1		1
⑦価格転嫁をしなくても大きな影響がないため						0
⑧その他					1	1
⑨回答不能						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、6割以上の事業所が影響が生じているとし、約3割が経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があると回答している。

政府のデジタル化の推進により改善を期待する点＜オンライン行政手続き＞に関する付帯調査では、申請書類・添付書類の削減や手続きの窓口原則の見直し、手数料・更新料の減額、ハード面での環境整備支援という意見が多い。

価格転嫁に関する付帯調査では、価格転嫁が半分以上できた、半分に満たない、まったく転嫁できていないという回答で割れ、全て価格転嫁できているとの回答はなかった。価格転嫁できない要因として、消費者の節約志向・低価格志向が続いている、また、需要が減少しているためという意見が多かった。

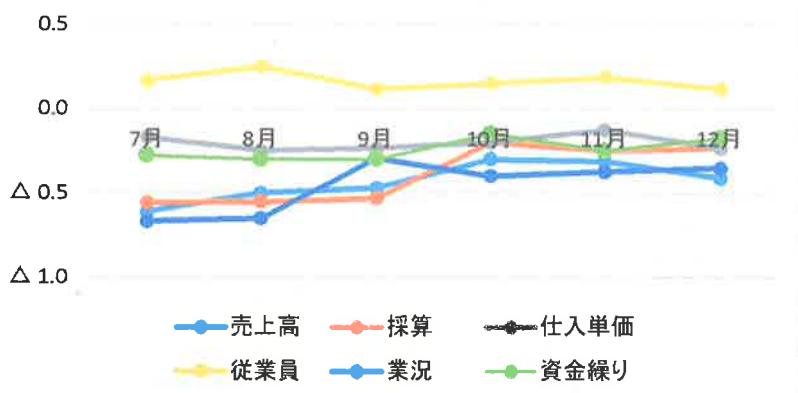
業況感に対するコメントには、コロナ禍及び行政不安により消費者の購買動向が鈍化している、先行きに関して不安がぬぐえない等の声が寄せられた。

白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年12月分)

実施期間: 令和2.12.9 ~ 12.16 回答事業所: 17事業所

1. 全業種DI値

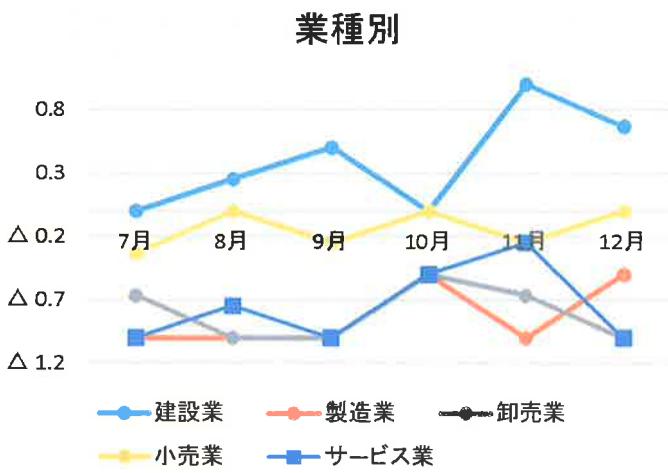
全業種(DI値)



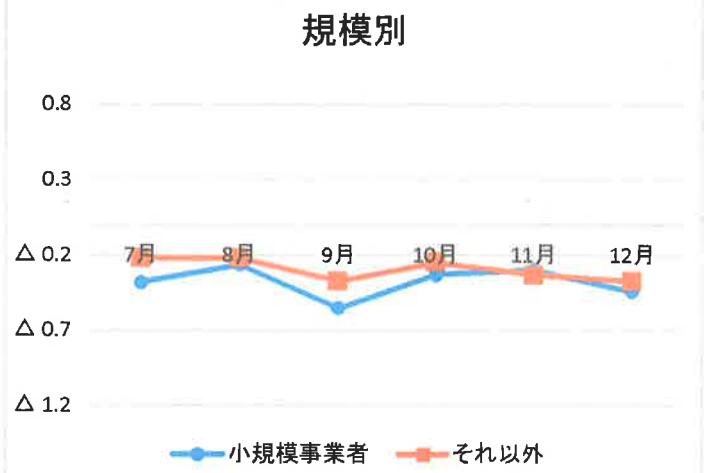
12月の全業種DI値を見ると、売上・業況が△0.3で前月比+0.1ポイント上昇、一方で採算が前月比-0.1ポイント下落している。仕入単価・資金繰りが△0.2、従業員が0.1で変化なしという結果であった。

2. 売上高

業種別



規模別



売上DIの推移

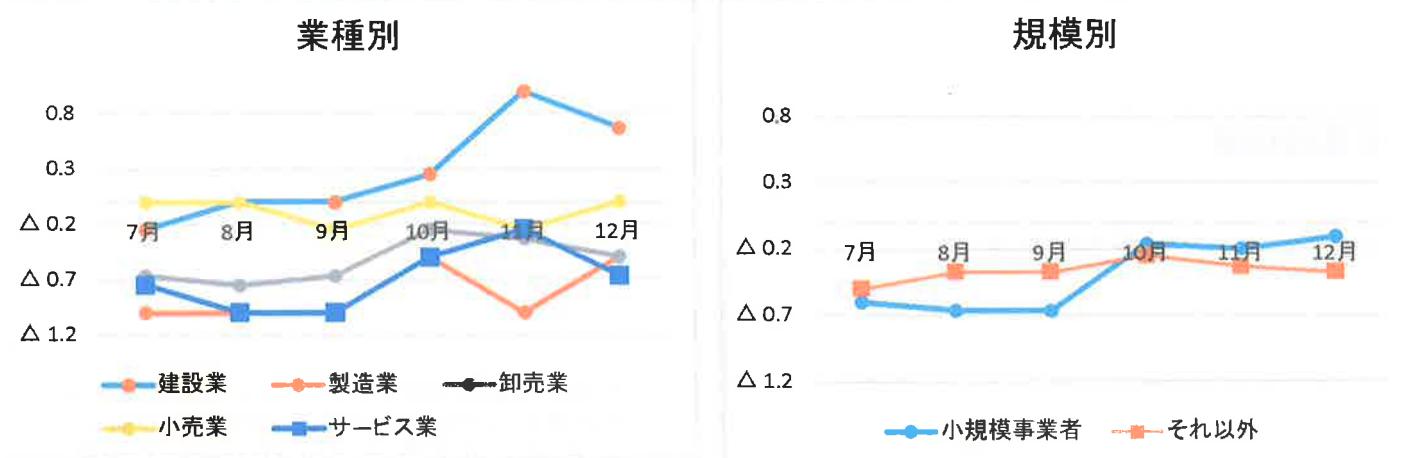
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4
建設	0.0	0.3	0.5	0.0	1.0	0.7
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.0
小売	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4

全産業の売上DIは△0.4で前月比-0.1ポイントの下落。

業種別に見てみると、製造業が前月比+0.5ポイント、小売業が+0.3ポイント上昇。一方で建設業・卸売業では前月比-0.3ポイント、サービス業では-0.7ポイント下落している。

規模別に見ると、小規模事業者・、それ以外の事業所とも前月比-0.1ポイントの下落となっている。

3. 採算



採算DIの推移

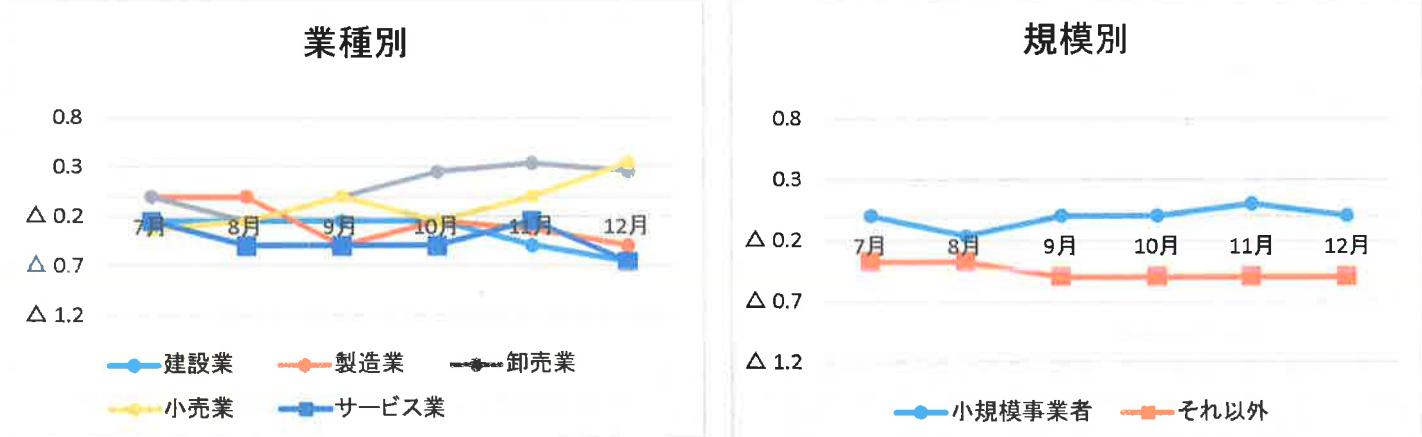
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.3	1.0	0.7
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
小売	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7
小規模	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4

全産業の採算DIは△0.2で前月比+0.1ポイント上昇。

業種別にみると製造業で前月比+0.5ポイント、小売業で+0.3ポイント上昇している。一方で建設業では前月比-0.3ポイント、卸売業では-0.2ポイント、サービス業においては-0.4ポイント下落という結果。

規模別にみると、小規模事業者が前月比+0.1ポイント、それ以外では-0.1ポイントとなっている。

4. 仕入単価



仕入単価DIの推移

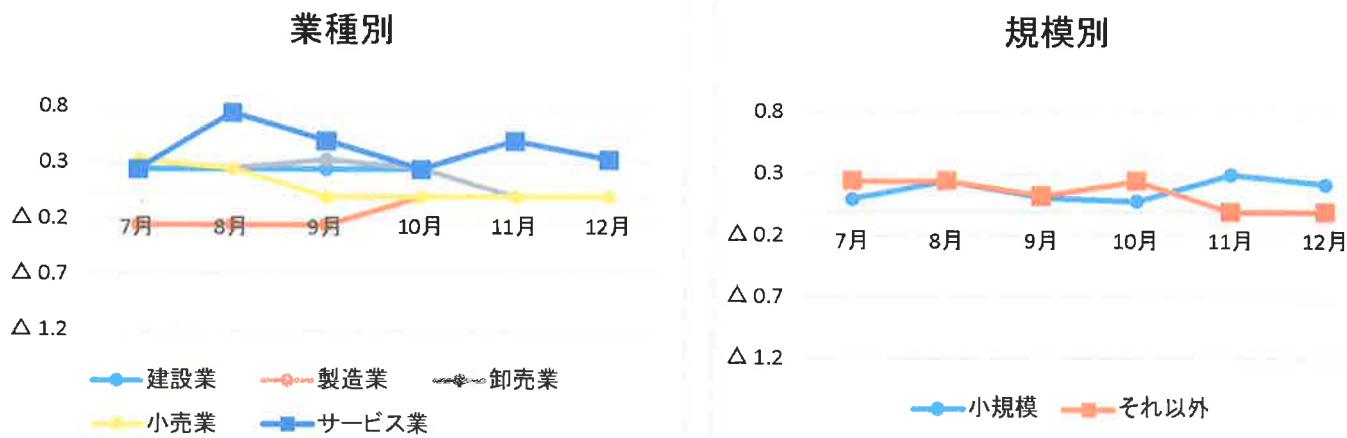
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2
建設	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7
製造	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
卸売	0.0	△ 0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	0.3
サービス	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7
小規模	0.0	△ 0.2	0.0	0.0	0.1	0.0
それ以外	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5

仕入単価の全産業DIは△0.2で前月比-0.1ポイントであった。

業種別にみると、小売業が前月比+0.3ポイント上昇している。一方で建設業・製造業が前月比-0.2ポイント、サービス業では-0.4ポイント下落となっている。

規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.1ポイント下落、それ以外は変化なしという結果であった。

5. 従業員



従業員DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
卸売	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
小売	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.3	0.8	0.5	0.3	0.5	0.3
小規模	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2
それ以外	0.3	0.3	0.1	0.3	0.0	0.0

従業員の全産業DIは0.1で前月比-0.1ポイント下落している。

業種別にみると、建設業・サービス業で前月比-0.2ポイント下落、それ以外の業種については横ばいという結果であった。

規模別にみると、小規模事業者が前月比-0.1ポイントの下落、それ以外では横ばいとなっている。

6. 業況



業況DIの推移

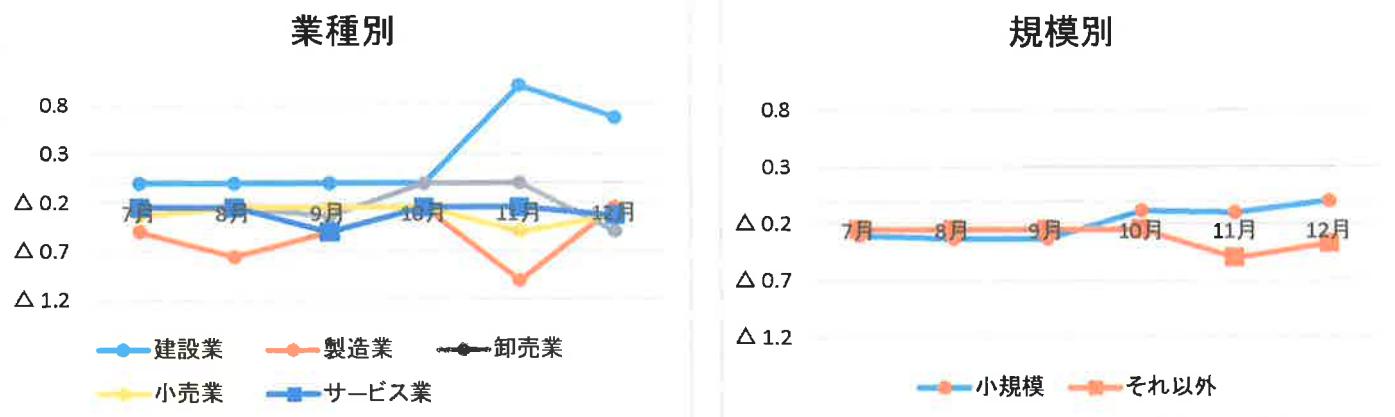
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4
建設	0.0	△ 0.3	0.3	0.0	1.0	0.7
製造	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.5
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8
小売	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	0.0
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3
それ以外	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.4

業況の全産業DIは△0.4と、前月と比べ横ばいに推移。

業種別にみると、製造業・小売業で前月比+0.5ポイント上昇、一方で建設業が前月比-0.3ポイント、卸売業が-0.1ポイント、サービス業が-0.7ポイント下落している。

規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.1ポイント下落、それ以外では前月比+0.3ポイント上昇している。

7. 資金繰り



資金繰りDIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7
製造	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3
卸売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	△ 0.5
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3
サービス	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
小規模	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0
それ以外	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.4

資金繰りの全産業合計DIは△0.2となっており、前月比-0.1ポイント下落。業種別にみると、製造業が前月比+0.7ポイント、小売業が+0.2ポイント上昇、一方で建設業が前月比-0.3ポイント、卸売業が-0.5ポイント下落、サービス業においては横ばい。規模別にみると、小規模事業者・それ以外とも前月比+0.1ポイントという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている		1	4	3	3	11
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	2	1				3
③影響はない	1	1				2
④分からない						0

2.付帯調査【賃上げの動向について】

2-1 正社員における2020年度の賃上げ(定期昇給、ベースアップ、手当の新設・増額、一時金(賞与)の増額)の状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	1			1		2
②業績の改善がみられないが(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	2	1	1	1		5
③賃金は同水準を維持する			2	3	2	7
④賃金は引き下げる						0
⑤現時点では未定					1	1
⑥回答不能				1		1

2-2 2-1で①～②と回答した場合 正社員における2020年度の賃上げの内容について※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)	2	1	1	2		6
②ベースアップを実施した(予定含む)	1			1		2
③手当の新設・増額(予定含む)(例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)						0
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)	1					1
⑤回答不能			2			2

2-3 2-1で①～②と回答した場合 正社員の賃上げを行う理由について※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①人材確保・定着やモチベーション向上のため	3		1	2		6
②最低賃金が引き上げられたため			1		1	2
③新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため			1		1	2
④時間外労働の削減により手取り額が減少しているため						0
⑤社会保険料の増加により手取り額の減少しているため						0
⑥他社より低い賃金になっているため						0
⑦数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑧物価が上昇しているため	1					1
⑨税制の優遇措置(所得拡大促進税制)を利用するため						0
⑩その他						0
⑪回答不能			1			1

2-4 1-2で③～⑤と回答した場合 正社員の賃上げを見送る(予定含む)もしくは未定とする理由について※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①今後の経営環境・経済状況が不透明なため		3	2		3	8
②業績の改善がみられないため(見込み含む)		2			3	5
③社会保険料の増加により会社負担が増えているため		1			1	2
④すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため				1		1
⑤増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため						0
⑥新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため						0
⑦非正規社員の賃金(時給等)を引き上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため						0
⑧研修や福利厚生の充実を優先させるため						0
⑨その他				1		1
⑩回答不能						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、6割以上の事業所が影響が生じていると回答している。正社員における2020年度の賃上げ状況においては、賃上げを実施したと回答した事業所が4割、同水準の支給が4割となっている。また賃上げの内容としては、「定期昇給」が最も多く、理由としては「人材確保・定着やモチベーション向上のため」、また最低賃金や新卒初任給等の引き上げ等が挙げられている。